

# ひろしま公園活性化プラン（素案）

～将来にわたって愛され続ける公園であるために～

令和4年〇月

広島県

## 目 次

<b>第 1 章 ひろしま公園活性化プランについて</b> .....	<b>1-1</b>
1-1. 県内の都市公園の状況 .....	1-1
1-2. 対象公園 .....	1-3
1-3. 策定の趣旨 .....	1-4
1-4. 位置付け .....	1-4
1-5. 計画期間 .....	1-5
<b>第 2 章 県立 3 公園の現状と特性</b> .....	<b>2-1</b>
2-1. みよし公園 .....	2-1
2-2. びんご運動公園 .....	2-7
2-3. せら県民公園 .....	2-14
<b>第 3 章 社会情勢の変化</b> .....	<b>3-1</b>
3-1. 考慮すべき変化 .....	3-1
3-2. 重視すべき変化 .....	3-6
<b>第 4 章 目指す姿と課題</b> .....	<b>4-1</b>
4-1. あるべき姿（30年後） .....	4-1
4-2. 目指す姿（10年後） .....	4-2
4-3. 現状から手立てを講じない場合と目指す姿とのギャップ .....	4-3
4-4. 目指す姿の実現にあたって考慮すべき課題 .....	4-4
<b>第 5 章 基本方針と取組の方向、主要な施策</b> .....	<b>5-1</b>
5-1. ターゲット層の設定と志向分析 .....	5-1
5-2. 基本方針と取組の方向の、主な施策 .....	5-4
<b>第 6 章 公園活性化に向けたアクション</b> .....	<b>6-1</b>
<b>資料編</b>	
1 公園利用の現状（実績報告・GPS・周辺状況など） .....	
2 アンケート調査結果 .....	
3 用語解説 .....	
4 公園活性化協議会について .....	

# 第1章 ひろしま公園活性化プランについて

## 1-1. 県内の都市公園の状況

### (1) 県内の都市公園

県内における公園整備は、戦後の復興計画に基づいて公園事業が進められましたが、その後の財政事業もあって公園の整備は失業対策事業などにより緑化事業を中心に進められ、公園面積や箇所集の急増などは見られませんでした。

その後、経済の高度成長や昭和47年から始まった国の都市公園等整備5か年計画を契機として徐々に整備が進み、平成7年4月に中国地方では初めての国営公園として、備北丘陵公園が開設されるなど、県内の都市公園の整備拡充が図られました。

本県の都市公園整備状況は、令和3年3月末現在、都市計画法適用都市20市町の内19市町において都市公園が設置されており、開設公園は2,048箇所、2,085ha、都市計画区域内人口一人当たりの公園面積14.5人/m<sup>2</sup>で、全国平均(10.7人/m<sup>2</sup>)をやや上回っています。

全国水準に比べ数値の低かった総合公園、運動公園については、アジア競技大会(平成6年)、国民体育大会(平成8年)等の開催を経て都市公園整備が進み、広域公園を含めた多くの公園が新たに開設されるなど、整備水準が大きく向上しました。

都市公園は、県民に対し安らぎや憩いの場、レクリエーション活動の場を提供するとともに、都市環境の保全、大地震火災時における避難地や延焼防止機能など、多くの役割を有する重要な施設であるため、こうした機能を総合的に発揮できるよう、今後も住区基幹公園、都市基幹公園、特殊公園及び都市緑地等をその種別に応じた適正な配置と規模で設置していくとともに、都市公園等のオープンスペースをイベントやオープンカフェなど、地域の賑わいやまちづくりの拠点として、有効に活用していく必要があります。

※今後最新データに更新予定

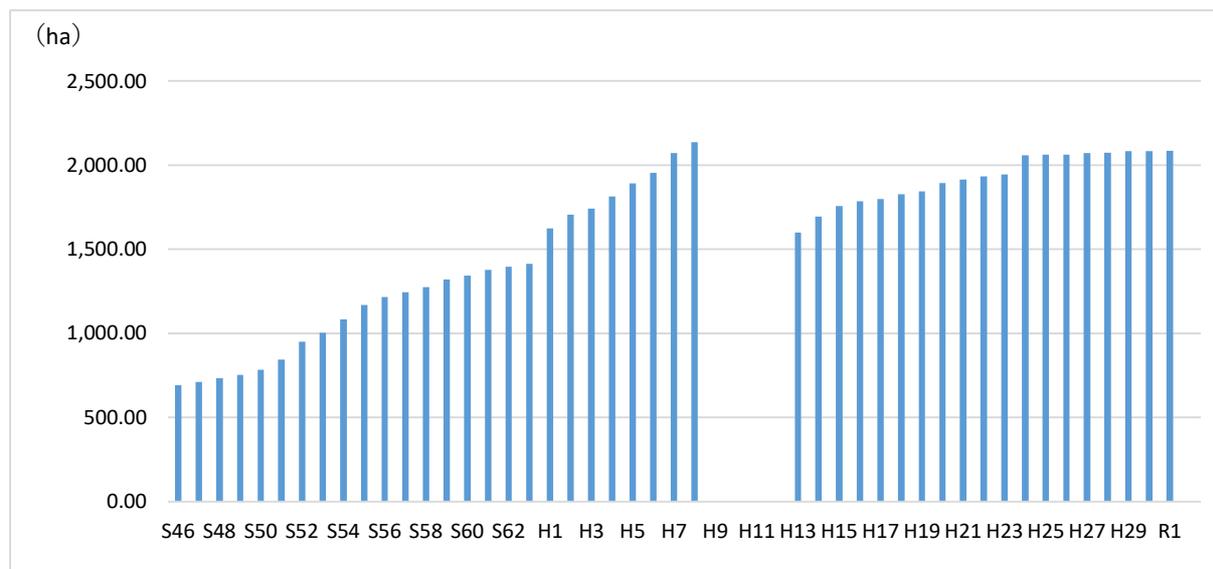


図1-1 広島県内の都市公園面積の推移

※今後最新データに更新予定

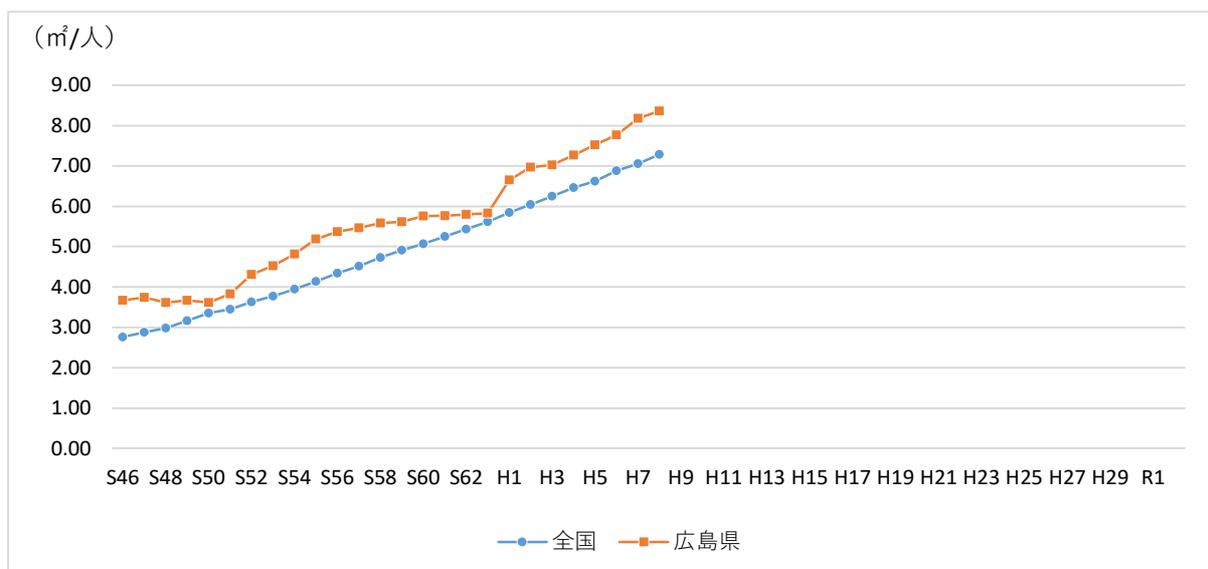


図1-2 都市計画区域内人口一人当たりの公園面積の推移 (全国, 広島県)

表1-1 公園種別整備状況 (全国, 広島県)

		全国		広島県	
		面積 (ha)	m²/人	面積 (ha)	m²/人
住区基幹公園	街区公園	14327.61	1.20	408.85	1.57
	近隣公園	10477.00	0.87	221.39	0.85
	地区公園	8629.98	0.72	145.33	0.56
都市基幹公園	総合公園	26174.17	2.18	433.10	1.67
	運動公園	12931.33	1.08	294.96	1.14
大規模公園	広域公園	15154.65	1.27	291.15	1.12
	レクリエーション都市公園	568.81	0.05	0.00	0.00
特殊公園		13811.97	1.15	660.15	2.54
国営公園		4305.29	0.36	338.80	1.30
都市緑地等		20392.66	1.70	168.84	0.65
合計		126773.47	10.58	2962.57	11.41

令和元年度末時点

## (2) 県立の都市公園

県立の都市公園は、明治6年の太政官布達（日本で初めての公園設置に関する法律）によって、同年6月に広島県厳島公園が、同年10月に鞆公園が開設されたことに始まります。

これは、従来から景勝地として多くの人々に親しまれてきたものをそのまま都市公園として指定したものであり、鞆公園は、その後瀬戸内海国立公園として編入され、厳島公園は、昭和31年の都市公園法制定によって、宮島公園として広島県を代表する都市公園となって現在に受け継がれています。また、昭和31年の都市公園制定によって「宮島公園」（特殊公園（風致公園））と同様に都市公園として指定された県立の都市公園には、「縮景園」（特殊公園（歴史公園））、「県立総合グラウンド」（運動公園）があります。

その後、昭和55年9月には、県民の緑化への意識の高揚と知識の普及を図り、安らぎと潤いのある公園として、緑化に関する指導機関と緑化に関する見本の提供、緑化相談所を兼ねた「広島緑化植物公園」（広域公園）を開設し、平成27年度からは、県立緑化センター及び広島市森林公園と連携した運営を開始しています。

また、高度経済成長期以降、県民の余暇活動やレクリエーションに対する意識が高まる中で、県民のレクリエーション活動の広域化や多様化傾向に対応するため、県立の都市公園（広域公園）を整備することとして、平成3年10月に「県立みよし公園」、平成5年10月に「県立びんご運動公園」、平成18年4月には「県立せら県民公園」を順次開設し、現在の状況となっています。

### 1-2. 対象公園

本プランの対象は県立の都市公園のうち、広域のレクリエーション需要を充足するために整備された、3つの広域公園である「県立みよし公園」、「県立びんご運動公園」、「県立せら県民公園」とします。このプランでは、この3つの広域公園を総称して「県立3公園」といいます。

県立3公園の位置は以下に示すとおりです。



図1-3 対象公園（県立3公園）の位置

### 1-3. 策定の趣旨

県立3公園内の各施設については、開園からの経過年数（15～30年）に応じて老朽化対策を実施すべき施設が増加する一方で、投資できる予算は限られており、公園修繕方針に基づき計画的な維持管理を推進していますが、今後は、更に戦略的に運営・管理していく必要があります。

また、時間の経過や新型コロナウイルスの影響に伴う環境の変化などにより、公園に対する価値観や利用者ニーズが変化していることから、利用頻度の低い施設や未利用地等の有効活用が求められています。

このため、施設の老朽化や利用者のニーズの変化を踏まえた既存ストックの機能向上を図り、魅力的で持続可能な公園を実現することを目的に設置した公園活性化協議会での議論を踏まえ、今後の戦略的な運営・管理の方針として本プランを取りまとめました。

策定にあたっては、利用状況や特性の分析、ニーズ調査等によって現状を把握し、30年後の「あるべき姿」を想定して10年後の「目指す姿」を設定し、「目指す姿」と現状とのギャップから「取組の方向」を整理しています。

### 1-4. 位置付け

本プランは、県の総合計画である「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」が目指す広島県の将来像を実現するため、社会資本マネジメントの基本方針として策定している「社会資本未来プラン」の公園分野の計画であり、県の都市計画区域の整備、開発及び保全の方針を定めた「都市計画区域マスタープラン」を上位計画として位置付けています。

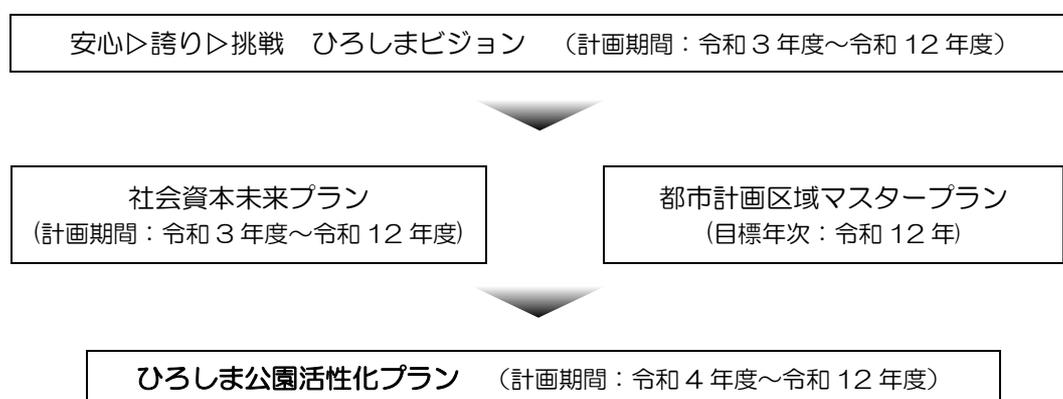


図1-4 本プランの位置づけ

## 1-5. 計画期間

本プランの計画期間は、上位計画の計画期間を踏まえ、令和4年度（2022）～令和12年度（2030）とします。

なお、本プランでは、短期を令和4年度～令和7年度、中期を令和8年度～令和12年度、長期を令和13年度以降のように区分します。



図1-5 本プランの計画期間

## 第2章 県立3公園の現状と特性

### 2-1. みよし公園の現状と特性

#### (1) 設置目的

みよし公園の設置目的を以下に示します。

備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興

#### (2) 公園の変遷

みよし公園は、平成3年開園から平成13年にかけて順次、施設を拡充（開園から30年が経過）しています。

主要施設は、カルチャーセンター、温水プール、パークゴルフ場、テニスコート、文化の広場、こども広場、しょうぶ園などです。

また、広島県の救援物資の輸送拠点及び三次市の指定緊急避難場所に位置付けられています。

表 2-1 みよし公園の施設整備変遷

整備年月	施設名
平成3年10月	アストラの丘、カルチャーセンター、文化の広場、芝生広場
平成8年4月	パークゴルフ
平成9年4月	子ども広場、テニスコート
平成10年4月	多目的広場
平成11年4月	しょうぶ園、自然探索道
平成12年4月	温水プール
平成13年4月	自由広場

#### (3) 施設配置状況

みよし公園の施設は、温水プールやパークゴルフ場、テニスコート、アリーナなどのスポーツ施設やイベントなどで利用できる文化の広場やカルチャーセンター、こども広場、自然探索道などの文化施設が整備されています。

表 2-2 みよし公園の施設一覧

施設名	主な利用形態
カルチャーセンター	卓球, バレー, ヨガ, ダンス, エアロビクス, 講演会, 会議, レクリエーションなど
文化の広場	フェスティバル会場, 展示会, フリーマーケット, スポーツ教室など
芝生広場	ピクニック, おにごっこ, 自転車練習など
パークゴルフ場	パークゴルフ
こども広場	子供の遊び場など
テニスコート	テニス, 壁打ち, バスケットボール
多目的広場	サッカー, おにごっこ, ゲートボール, 砂場あそび, 屋外ゲームなど
しょうぶ園	自然観察など
自然探索道	ジョギング, 散策, バードウォッチング, 古墳探索, 昆虫採集など
温水プール	水泳教室, アクアビクス, トレーニングなど
自由広場	スケートボード, ローラースケート, BMX など



図 2-1 みよし公園の施設位置

#### (4) 利用者数の推移

みよし公園の利用者数については、約 645～709 千人で推移しています。令和元年度については、プール改修やコロナ禍の影響により、利用者が減少しています。

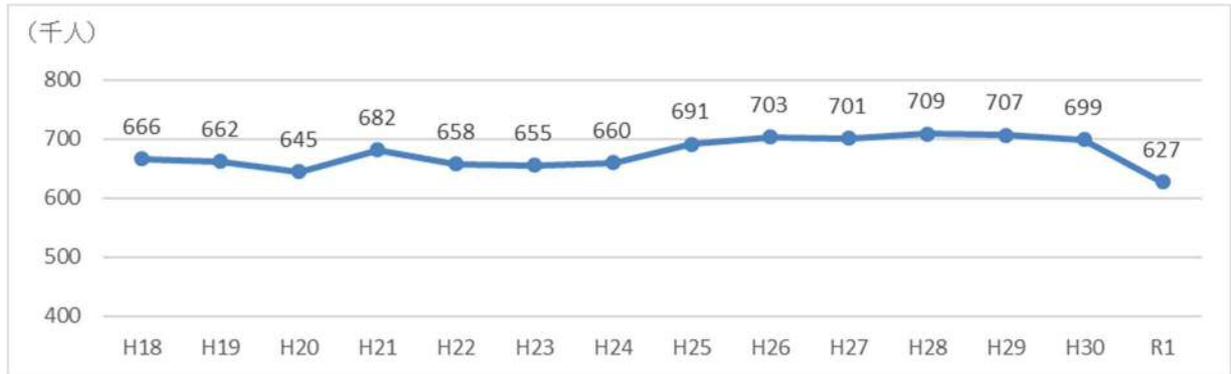


図 2-2 みよし公園の利用者数推移

#### (5) 管理運営状況

みよし公園については、平成 17 年から指定管理者制度を用いて、管理運営を実施しています。

指定管理者が作成した事業報告書によると、令和元年度の管理運営費（人件費、光熱費、清掃費など）は約 1.44 億円/年を要しており、その内訳は、利用料金及びその他での収入は約 0.3 億円/年で、公共投資額（県からの委託料）が 1.14 億円/年となっています。

一人当たりの公共投資額と利用料金を比較すると、テニスコートやカルチャーセンターは公共投資額と利用料金の差異が大きい施設がある一方で、トレーニング室では利用料金が公共投資額を上回っています。

また、各施設について、公園修繕方針に基づき、計画的な修繕・更新を行っていますが、必要額と予算額に開きがあります。

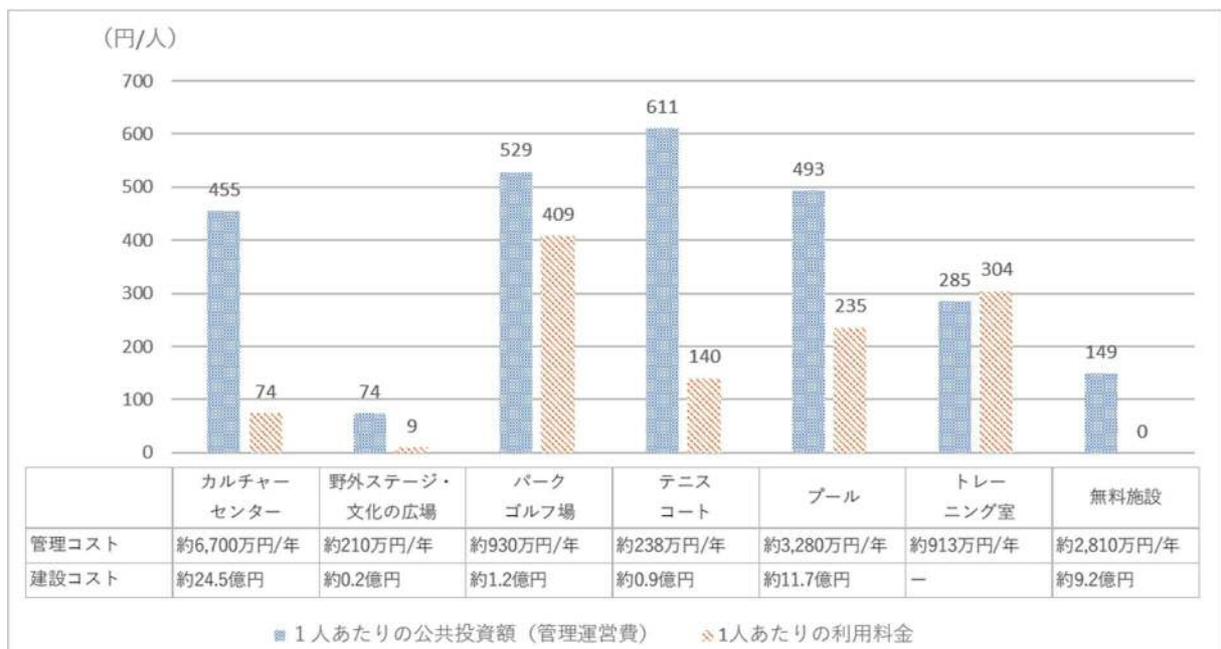


図 2-3 みよし公園の施設別公共投資額及び利用料金の比較

※上図における数値は令和元年度の管理運用実績と利用者数を基に算出

## (6) 公園のユーザ構造

みよし公園の利用状況について、各公園の事業報告書や GPS 情報や利用者アンケート結果から利用ユーザの構造を分析し、利用傾向を把握しました。

項目	分析結果概要																																							
利用者属性	<p>【GPS】70代以上女性（20%）の利用が最も多く、次いで40代男性，70代以上男性が多い。</p> <table border="1"> <caption>利用者属性の割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>性別</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20代</td> <td>男性</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>20代</td> <td>女性</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>男性</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>女性</td> <td>10.5%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>男性</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>女性</td> <td>10.4%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>男性</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>女性</td> <td>3.8%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>男性</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>女性</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>70代以上</td> <td>男性</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>70代以上</td> <td>女性</td> <td>20.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	性別	割合	20代	男性	5.2%	20代	女性	1.8%	30代	男性	7.1%	30代	女性	10.5%	40代	男性	13.5%	40代	女性	10.4%	50代	男性	6.4%	50代	女性	3.8%	60代	男性	5.1%	60代	女性	3.9%	70代以上	男性	11.9%	70代以上	女性	20.4%
年齢	性別	割合																																						
20代	男性	5.2%																																						
20代	女性	1.8%																																						
30代	男性	7.1%																																						
30代	女性	10.5%																																						
40代	男性	13.5%																																						
40代	女性	10.4%																																						
50代	男性	6.4%																																						
50代	女性	3.8%																																						
60代	男性	5.1%																																						
60代	女性	3.9%																																						
70代以上	男性	11.9%																																						
70代以上	女性	20.4%																																						
利用頻度	<p>【GPS】年に1回（72%）が最も多く、次いで半年に1回（25%） 【アンケート】週に1回程度の方（31%）が最も多く、次いで年に数回程度が多い。</p>																																							
利用者の居住地域	<p>【GPS】三次市（54%）が最も多く、次いで庄原市（13%）</p> <table border="1"> <caption>利用者の居住地域</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三次市</td> <td>54.1%</td> </tr> <tr> <td>庄原市</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>広島市</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>安芸高田市</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>福山市</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>その他(県内)</td> <td>10.3%</td> </tr> <tr> <td>その他(県外)</td> <td>6.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【アンケート】三次市（60%）が最も多く、次いで広島市（13%）、庄原市（8%）</p>	地域	割合	三次市	54.1%	庄原市	13.0%	広島市	11.1%	安芸高田市	2.6%	福山市	2.6%	その他(県内)	10.3%	その他(県外)	6.4%																							
地域	割合																																							
三次市	54.1%																																							
庄原市	13.0%																																							
広島市	11.1%																																							
安芸高田市	2.6%																																							
福山市	2.6%																																							
その他(県内)	10.3%																																							
その他(県外)	6.4%																																							
利用時間帯	<p>【GPS】年間を通して日中の利用が多く、季節では特に秋の利用が多い。</p>																																							
利用状況	<p>【GPS】 カルチャーセンター（31.0%）、こども・芝生広場（22.2%）、プール（15.5%）、文化の広場（11.7%）、テニスコート（7.7%）、パークゴルフ場（4.6%）、多目的広場（3.9%）、しょうぶ園（3.1%）、自由広場（0.4%）</p> <p>【アンケート】 カルチャーセンター（62.7%）、こども・芝生広場（64.4%）、プール（40.5%）、文化の広場（2.4%）、テニスコート（7.1%）、パークゴルフ場（1.6%）、多目的広場（7.9%）、しょうぶ園（4.8%）、自由広場（8.7%）</p>																																							
稼働率	<p>【実績】 日稼働率：100%（全施設） 時間稼働率：カルチャーセンター49% 文化の広場5%</p>																																							

【GPS】：GPS 分析結果 【アンケート】：利用者アンケート結果 【実績】：H28 年度実績  
 ※GPS 分析はコロナ禍前（H31.3～R2.2）の情報（18 歳以上が対象）を抽出しており、利用者アンケートはコロナ禍（R3.8～R3.9）で実施したことなどから結果に差異が生じている  
 ※日稼働率は、開所すべき日数に対して、使用した日数の割合から算出  
 ※時間稼働率は、開所時間のうち、使用した時間の割合から算出

項目	分析結果概要																																				
満足度	<p>【アンケート】公園全体の満足度は、大変満足(18%)、満足(42%)、概ね満足(26%)の合計で86%を占めており、非常に高くなっている。</p> <p>公園全体の満足度 (N=153)</p> <table border="1"> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>大満足</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>41.8%</td> </tr> <tr> <td>概ね満足</td> <td>25.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>大いに不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>【アンケート】施設面では、自然の豊かさ(77%)や施設・設備の充実状況(59%)に関して特に満足度が高くなっている。一方、飲食施設・休憩施設(35%)やバリアフリー化の状況(41%)に関しては、満足度が低めになっている。</p> <p>【アンケート】運営・維持管理面では、スタッフの対応(62%)の満足度が高く、地域ならではの取組(37%)や公共交通でのアクセス(41%)では満足度が低めになっている。</p>	満足度	割合	大満足	18.3%	満足	41.8%	概ね満足	25.5%	どちらともいえない	7.2%	やや不満	4.6%	不満	2.6%	大いに不満	0%	未回答	0%																		
満足度	割合																																				
大満足	18.3%																																				
満足	41.8%																																				
概ね満足	25.5%																																				
どちらともいえない	7.2%																																				
やや不満	4.6%																																				
不満	2.6%																																				
大いに不満	0%																																				
未回答	0%																																				
改善点	<p>【アンケート】みよし公園でできたらもっと利用すると思うものとして、プロスポーツ観戦(35%)が最も多く、次いでイベントや催し物の開催・参加(33%)、食事や休憩(33%)となっている。</p> <p>【アンケート】公園にあれば利用したいと思う施設として、アスレチック(46%)が最も多く、次いで、バーベキュー場(35%)、キャンプ場(33%)の順に多くなっている。</p> <p>公園にあれば利用したいと思う施設 (N=153)</p> <table border="1"> <tr> <th>施設</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>アスレチック</td> <td>45.8%</td> </tr> <tr> <td>バーベキュー場</td> <td>34.6%</td> </tr> <tr> <td>キャンプ場</td> <td>32.7%</td> </tr> <tr> <td>ドッグラン</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>冒険遊び場</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>ボルダリング</td> <td>26.1%</td> </tr> <tr> <td>3×3バスケットコート</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>壁打ちができる施設</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>野外ステージ</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>5.9%</td> </tr> <tr> <td>施設が増えても利用しない</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>クロスカントリー</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>カフェ・レストラン</td> <td>30.1%</td> </tr> <tr> <td>スケートボード場</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>じゃぶじゃぶ池(水遊び場)</td> <td>31.4%</td> </tr> </table>	施設	割合	アスレチック	45.8%	バーベキュー場	34.6%	キャンプ場	32.7%	ドッグラン	18.3%	冒険遊び場	28.8%	ボルダリング	26.1%	3×3バスケットコート	9.8%	壁打ちができる施設	9.8%	野外ステージ	7.8%	その他	9.2%	特になし	5.9%	施設が増えても利用しない	2.0%	未回答	7.2%	クロスカントリー	2.6%	カフェ・レストラン	30.1%	スケートボード場	8.5%	じゃぶじゃぶ池(水遊び場)	31.4%
施設	割合																																				
アスレチック	45.8%																																				
バーベキュー場	34.6%																																				
キャンプ場	32.7%																																				
ドッグラン	18.3%																																				
冒険遊び場	28.8%																																				
ボルダリング	26.1%																																				
3×3バスケットコート	9.8%																																				
壁打ちができる施設	9.8%																																				
野外ステージ	7.8%																																				
その他	9.2%																																				
特になし	5.9%																																				
施設が増えても利用しない	2.0%																																				
未回答	7.2%																																				
クロスカントリー	2.6%																																				
カフェ・レストラン	30.1%																																				
スケートボード場	8.5%																																				
じゃぶじゃぶ池(水遊び場)	31.4%																																				

## (7) 公園の特性（強み）

公園の活性化を考える上で、考慮すべき公園の特性（強み）を以下に整理します。

### ① 備北圏域のスポーツの中核施設

みよし公園には、下表に示すようなスポーツ施設が整備されており、アリーナやパークゴルフ場や温水プールでは、小学生や一般市民レベルの大会が開催されるなど、備北圏域のスポーツの中核施設となっています。

表 2-3 みよし公園のスポーツ施設一覧

主なスポーツ施設名	規模等	主な大会開催
アリーナ（カルチャーセンター内）	・フロア面積約 1,900 m <sup>2</sup> ・観覧固定席約 1,000 席	・広島県小学生総合体育大会(バレー) ・中国フットサルリーグ
パークゴルフ場	・全長 714m ・18 ホール	・ミズノパークゴルフ大会 ・三次市月例会パークゴルフ大会
テニスコート	・コート 2 面	・大会実績なし
屋外バスケットボールコート	・施設面積約 1,500 m <sup>2</sup> コート 1 面	・大会実績なし
温水プール	・25m×17m（8 コース）	・広島県年齢別室内夏季水泳競技大会

※主な大会開催については、H31 年度事業報告書を参考に記載

### ② 高速道路からの良好なアクセス性

みよし公園は、高速道路（中国自動車道・尾道自動車道）の三次東 IC から約 1 km の場所に位置し、良好なアクセス性を有しています。

### ③ 近隣の人々の利用が多い

公園利用者へのアンケート調査結果によると、回答者はみよし公園が位置する三次市にお住まいの方が 68% と最も多く、次いで三次市に隣接する庄原市（10%）で多くなっています。（回答者数 N=126 名）このように、当該公園の利用者は近隣の人々の利用が多く、親しまれていることがわかります。

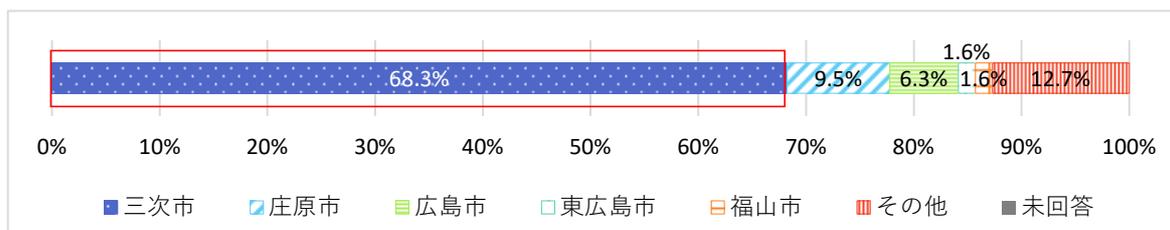


図 2-4 回答者の居住地（みよし運動公園）

## (8) 公園の特性（弱み）

公園の活性化を考える上で、考慮すべき公園の特性（弱み）を以下に整理します。

### ① 集客力が高い類似施設との競合

みよし公園の周辺には、「広島三次ワイナリー」や「国営備北丘陵公園」、「尾関山公園」、「三次もののけミュージアム」などが立地しており、みよし公園はこれらの集客力が高い類似施設と競合している状況です。

### ② 低利用のエリアが点在している

多目的広場、自由広場、しょうぶ園など利用率の低いエリアが点在しています。

## 2-2. びんご運動公園の現状と特性

### (1) 設置目的

びんご運動公園の設置目的を以下に示します。

備後地域のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興

### (2) 公園の変遷

びんご運動公園は、平成5年10月に開園し、陸上競技場、球技場、健康スポーツセンター、冒険の森が整備されました。その後、テニスコート、多目的広場、コミュニティプール、野球場などが順次に整備されました。

陸上競技場、球技場、健康スポーツセンターは、整備より約28年経過し、老朽化が進んでいる公園施設が増加しています。

表 2-4 びんご運動公園の施設整備変遷

整備年月	施設名
平成5年10月	陸上競技場、球技場、健康スポーツセンター、冒険の森
平成7年7月	テニスコート、多目的広場
平成8年4月	コミュニティプール
平成9年4月	ジョギングコース
平成11年3月	冒険の森
平成11年4月	オートキャンプ場、展望広場
平成14年4月	野球場

### (3) 施設配置状況

びんご運動公園の施設は、陸上競技場や球技場、テニスコート、健康スポーツセンター、野球場など多様なスポーツ施設が整備されています。また、オートキャンプ場や冒険の森などレクリエーション施設も整備されています。

表 2-5 びんご運動公園の施設一覧

施設名	利用形態
陸上競技場	陸上競技, サッカー, ラクビー
球技場	ソフトボール, サッカー, 運動会など
テニスコート	テニス
健康スポーツセンター	バレーボール, バスケットボール, バトミントン, テニスなど
コミュニティプール	一般利用, 水泳教室など
野球場	野球
冒険の森	遊び場など
多目的広場	グラウンドゴルフなど
オートキャンプ場	オートキャンプ, ティキャンプ



図 2-5 びんご運動公園の施設位置図

#### (4) 利用者数の推移

びんご運動公園の利用者数については、約 633～730千人で推移しています。平成 24 年度や令和元年度については、陸上競技場やプール、アリーナの改修やコロナ禍の影響により、利用者が減少しています。

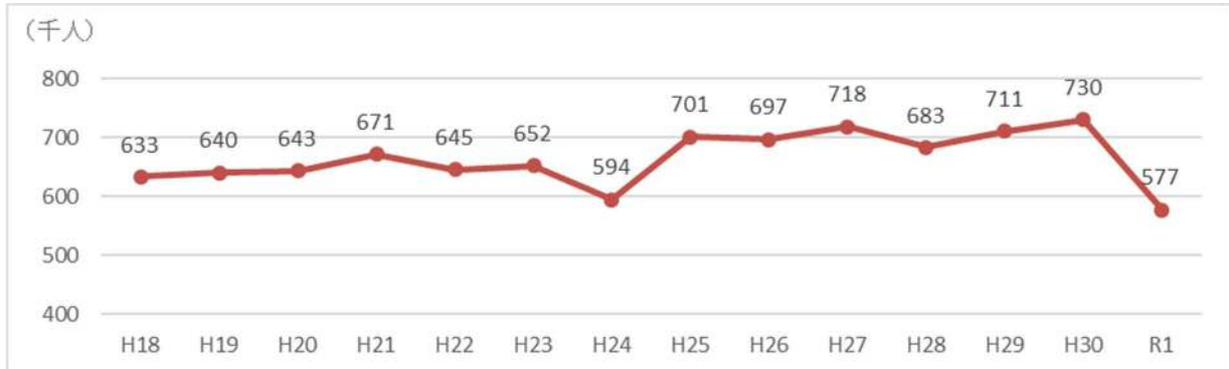


図 2-6 びんご運動公園の利用者数推移

#### (5) 管理運営状況

びんご運動公園については、平成 17 年から指定管理者制度を用いて、管理運営を実施しています。

指定管理者が作成した事業報告書によると、令和元年度の管理運営費(人件費、光熱費、清掃費など)は約 2.4 億円/年を要しており、その内訳は、利用料金及びその他での収入は約 0.8 億円/年で、公共投資額(県からの委託料)が 1.6 億円/年となっています。

また、一人当たりの公共投資額と利用料金を比較すると、キャンプ場や球技場、陸上競技場は公共投資額と利用料金の差異が大きい施設がある一方で、テニスコートやプールでは利用料金が公共投資額を上回っています。

ただし、各施設について、公園修繕方針に基づき、計画的に修繕・更新を行っており、必要額と予算額に開きがあります。

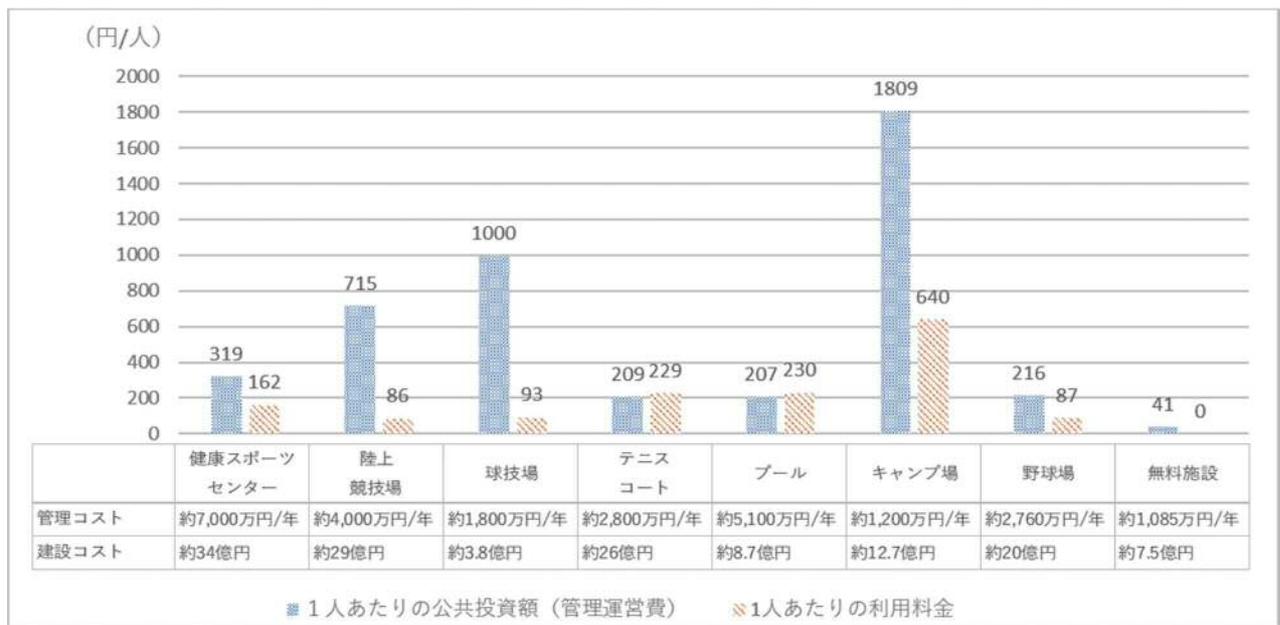


図 2-7 びんご運動公園の施設別公共投資額及び利用料金の比較

※上図における数値は令和元年度の管理運用実績と利用者数を基に算出

## (6) 公園のユーザ構造

びんご運動公園の利用状況について、GPS 情報や利用者アンケート結果から利用ユーザの構造を分析し、利用傾向を把握しました。

項目	分析結果概要																																							
利用者属性	<p>【GPS】40代女性（15%）が最も多く、70代以上男性、40代男性が多い。</p> <table border="1"> <caption>利用者属性の割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>性別</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20代</td> <td>男性</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>20代</td> <td>女性</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>男性</td> <td>6.6%</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>女性</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>男性</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>女性</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>男性</td> <td>7.6%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>女性</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>男性</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>女性</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>70代以上</td> <td>男性</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>70代以上</td> <td>女性</td> <td>7.9%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	性別	割合	20代	男性	5.1%	20代	女性	1.6%	30代	男性	6.6%	30代	女性	7.8%	40代	男性	12.5%	40代	女性	14.6%	50代	男性	7.6%	50代	女性	5.1%	60代	男性	7.9%	60代	女性	9.2%	70代以上	男性	14.1%	70代以上	女性	7.9%
年齢	性別	割合																																						
20代	男性	5.1%																																						
20代	女性	1.6%																																						
30代	男性	6.6%																																						
30代	女性	7.8%																																						
40代	男性	12.5%																																						
40代	女性	14.6%																																						
50代	男性	7.6%																																						
50代	女性	5.1%																																						
60代	男性	7.9%																																						
60代	女性	9.2%																																						
70代以上	男性	14.1%																																						
70代以上	女性	7.9%																																						
利用頻度	<p>【GPS】年に1回（64%）が最も多く、次いで半年に1回（32%）となっており他公園と比較してリピーターが多い。</p> <p>【アンケート】週に1回程度の方（31%）が最も多く、次いで週に2～3回程度が多く週に1回以上利用している人は全体の2/3を占めている。</p>																																							
利用者の居住地域	<p>【GPS】尾道市（60.9%）が最も多く、次いで福山市（10.5%）、三原市（9.4%）</p> <table border="1"> <caption>利用者の居住地域 (GPS)</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尾道市</td> <td>60.9%</td> </tr> <tr> <td>福山市</td> <td>10.5%</td> </tr> <tr> <td>三原市</td> <td>9.4%</td> </tr> <tr> <td>東広島市</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>その他(県内)</td> <td>9.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【アンケート】尾道市（63%）が最も多く、次いで福山市（17%）、三原市（7%）</p>	地域	割合	尾道市	60.9%	福山市	10.5%	三原市	9.4%	東広島市	1.6%	府中市	1.9%	その他(県内)	9.8%																									
地域	割合																																							
尾道市	60.9%																																							
福山市	10.5%																																							
三原市	9.4%																																							
東広島市	1.6%																																							
府中市	1.9%																																							
その他(県内)	9.8%																																							
利用時間帯	<p>【GPS】年間を通して日中の利用が多く、季節では大きな差は見られない。</p>																																							
利用状況	<p>【GPS】健康スポーツセンター（35.6%）、テニスコート（15.2%）、野球場（14.8%）、陸上競技場（11.2%）、多目的広場（10.1%）、プール（4.3%）、球技場（3.9%）、冒険の森（3.6%）、キャンプ場（0.8%）</p> <p>【アンケート】健康スポーツセンター（21.8%）、テニスコート（30.7%）、野球場（2.7%）、陸上競技場（14.3%）、多目的広場（14.9%）、プール（36.1%）、球技場（9.6%）、冒険の森（26.3%）、キャンプ場（5.6%）</p>																																							
稼働率	<p>【実績】日稼働率：健康スポーツセンター（100%）陸上競技場（94%）球技場（81%）テニスコート（100%）プール（100%）野球場（39%）キャンプ場（60%）</p> <p>時間稼働率：健康スポーツセンター（54%）陸上競技場（20%）球技場（40%）テニスコート（32%）プール（-）野球場（18%）キャンプ場（-）</p>																																							

【GPS】：GPS 分析結果 【アンケート】：利用者アンケート結果 【実績】：H31 事業報告書  
 ※GPS 分析はコロナ禍前（H31.3～R2.2）の情報（18歳以上が対象）を抽出しており、利用者アンケートはコロナ禍（R3.8～R3.9）で実施したことなどから結果に差異が生じている  
 ※日稼働率は、開所すべき日数に対して、使用した日数の割合から算出  
 ※時間稼働率は、開所時間のうち、使用した時間の割合から算出

項目	分析結果概要																																				
満足度	<p>【アンケート】公園全体の満足度は、大変満足(29%)、満足(35%)、概ね満足(25%)の合計で89%を占めており、非常に高くなっている。</p> <p>公園全体の満足度 (N=479)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変満足</td> <td>29.4%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>34.9%</td> </tr> <tr> <td>概ね満足</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>3.8%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>大いに不満</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 大変満足 □ 満足 ■ 概ね満足 □ どちらともいえない □ やや不満 □ 不満 ■ 大いに不満 ■ 未回答</p> <p>【アンケート】施設面では、自然の豊かさ(80%)や施設・設備の充実状況(74%)に関して特に満足度が高くなっている。一方、飲食施設・休憩施設(32%)やバリアフリー化(43%)に関しては、満足度が50%を下回っている。</p> <p>【アンケート】運営・維持管理面の満足度をみると、スタッフの対応(77%)の満足度が高く、公共交通でのアクセス(44%)や周辺施設との周遊(43%)、地域ならではの取組(43%)では満足度が低めになっている。</p>	満足度	割合	大変満足	29.4%	満足	34.9%	概ね満足	24.6%	どちらともいえない	3.8%	やや不満	5.0%	不満	0.2%	大いに不満	2.1%	未回答	0.2%																		
満足度	割合																																				
大変満足	29.4%																																				
満足	34.9%																																				
概ね満足	24.6%																																				
どちらともいえない	3.8%																																				
やや不満	5.0%																																				
不満	0.2%																																				
大いに不満	2.1%																																				
未回答	0.2%																																				
改善点	<p>【アンケート】びんご運動公園でできたらもっと利用すると思うものとして、プロスポーツ観戦(41%)が最も多く、次いで食事や休憩(33%)、気持ちよく利用できるトイレ(30%)、イベントや催し物の開催・参加(29%)となっている。</p> <p>【アンケート】公園にあれば利用したいと思う施設として、カフェ・レストラン(37%)が最も多く、次いでボルダリング(31%)、アスレチック(29%)、バーベキュー場(28%)の順に多くなっている。</p> <p>公園にあれば利用したいと思う施設 (N=479)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャンプ場</td> <td>20.5%</td> </tr> <tr> <td>バーベキュー場</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>ドッグラン</td> <td>12.9%</td> </tr> <tr> <td>アスレチック</td> <td>29.4%</td> </tr> <tr> <td>クロスカントリー</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>カフェ・レストラン</td> <td>37.0%</td> </tr> <tr> <td>スケートボード場</td> <td>10.6%</td> </tr> <tr> <td>じゃぶじゃぶ池(水遊び場)</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>3×3バスケットコート</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>ボルダリング</td> <td>30.5%</td> </tr> <tr> <td>壁打ちができる施設</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>野外ステージ</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>冒険遊び場</td> <td>18.4%</td> </tr> <tr> <td>施設が増えても利用しない</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.5%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>6.3%</td> </tr> </tbody> </table>	施設	割合	キャンプ場	20.5%	バーベキュー場	28.2%	ドッグラン	12.9%	アスレチック	29.4%	クロスカントリー	5.0%	カフェ・レストラン	37.0%	スケートボード場	10.6%	じゃぶじゃぶ池(水遊び場)	23.8%	3×3バスケットコート	10.0%	ボルダリング	30.5%	壁打ちができる施設	19.4%	野外ステージ	10.9%	冒険遊び場	18.4%	施設が増えても利用しない	0.6%	特になし	6.9%	その他	7.5%	未回答	6.3%
施設	割合																																				
キャンプ場	20.5%																																				
バーベキュー場	28.2%																																				
ドッグラン	12.9%																																				
アスレチック	29.4%																																				
クロスカントリー	5.0%																																				
カフェ・レストラン	37.0%																																				
スケートボード場	10.6%																																				
じゃぶじゃぶ池(水遊び場)	23.8%																																				
3×3バスケットコート	10.0%																																				
ボルダリング	30.5%																																				
壁打ちができる施設	19.4%																																				
野外ステージ	10.9%																																				
冒険遊び場	18.4%																																				
施設が増えても利用しない	0.6%																																				
特になし	6.9%																																				
その他	7.5%																																				
未回答	6.3%																																				

## (7) 公園の特性（強み）

公園の活性化を考える上で、考慮すべき公園の特性（強み）を以下に整理します。

### ① 県内スポーツの中核施設

びんご運動公園には、下表に示すようなスポーツ施設が整備されており、中学や高校などの県大会などが開催され、県内スポーツの中核施設となっています。

表 2-6 びんご運動公園のスポーツ施設一覧

主なスポーツ施設名	規模等	主な大会開催
陸上競技場	トラック：400m/8レーン フィールド：107m×68m	・広島県小中学生陸上競技記録会 ・中学校体育連盟夏季総合体育大会
球技場	グラウンド：154m×80m	・広島県障がい者陸上競技大会
テニスコート	ハードコート：2面 砂入り人工芝コート：16面	・広島県高等学校総合体育大会 ・全国中学テニス選手権大会
健康スポーツセンター	メインアリーナ：1,919㎡ サブアリーナ：713㎡	・中学校バレーボール選手権大会 ・広島県高等学校総合体育大会（卓球）
コミュニティプール	25m×13m（6コース）	・大会等の開催なし
野球場	面積：13,844㎡	・広島県高等学校野球大会 ・リトルシニア日本選手権中国支部大会

※主な大会開催については、H31年度事業報告書を参考に記載

### ② 高い施設水準

びんご運動公園は、日本陸上競技連盟第2種公認の陸上競技場を有し、アジア競技大会や国民体育大会の会場として使用されるなど、比較的高水準の競技会場として整備、維持されています。

### ③ 高速道路からの良好なアクセス性

びんご運動公園は、高速道路（山陽自動車道）の尾道 IC から約 3km の場所に位置し、良好なアクセス性を有しています。

### ④ 近隣の人の利用が多い

公園利用者へのアンケート調査結果によると、回答者はびんご運動公園が位置する尾道市にお住まいの方が 65% と最も多く、次いで尾道市に隣接する福山市（17%）や三原市（7%）の順に多くなっており、この 3 市が回答者の 89% を占めています（回答者数 N = 449 名）。

このように、当該公園の利用者は近隣の人の利用が多く、親しまれていることがわかります。

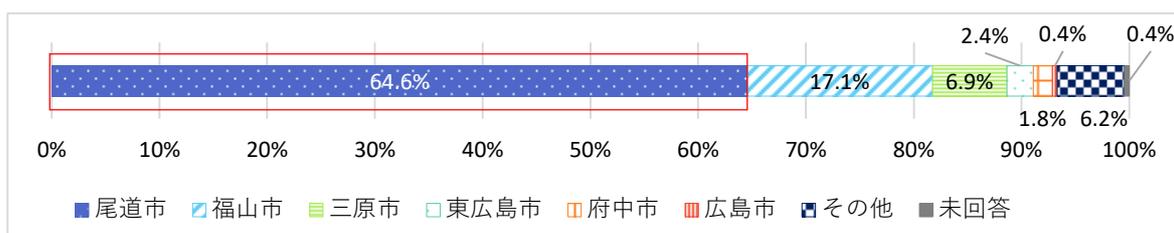


図 2-8 回答者の居住地（びんご運動公園）

## **(8) 公園の特性（弱み）**

公園の活性化を考える上で、考慮すべき公園の特性（弱み）を以下に整理します。

### **① 維持コスト**

びんご運動公園の管理運営費（R1 支出）は約2.4億円／年であり、その内訳は、県からの委託料約 1.5 億円，利用料金等収入は，約0.9 億円／年となっています。

### **② 未利用のエリアが点在している**

造成済みで施設が存在しない未利用の土地が点在しています。

## 2-3. せら県民公園の現状と特性

### (1) 設置目的

せら県民公園の設置目的を以下に示します。

県民の安らぎ交流拠点の創出，地域交流や自然との触れ合いを通じて心身を癒し，リフレッシュできる場の創出
--

### (2) 公園の変遷

平成18年4月に開園し，交流広場，レクリエーション広場，ミニチュアガーデン，多目的広場，自然観察園が整備されました。

表 2-7 せら県民公園の施設整備変遷

整備年月	施設名
平成18年4月	交流広場
平成20年4月	自然観察園
平成23年4月	レクリエーション広場，ミニチュアガーデン，多目的広場

### (3) 施設配置状況

せら県民公園の施設は，交流広場や多目的広場，せらミニチュアガーデン（遊具広場），レクリエーション広場などのレクリエーション施設が多く整備されており，近隣にはせら農業公園（せらワイナリー）も整備されています。

また，未供用のため活用されていない，取得済みの公園用地があります。

表 2-8 せら県民公園の施設一覧

施設名	主な利用形態
交流広場	休憩，ミニイベントなど
多目的広場	健康スポーツ，レクリエーション，地域イベント，遠足など
せらミニチュアガーデン（遊具広場）	子供の遊び場
レクリエーション広場	グランドゴルフ
のんびり草原	ピクニックや休養，軽スポーツなど
展望広場	展望，子供の遊び場など
自然観察園	自然観察

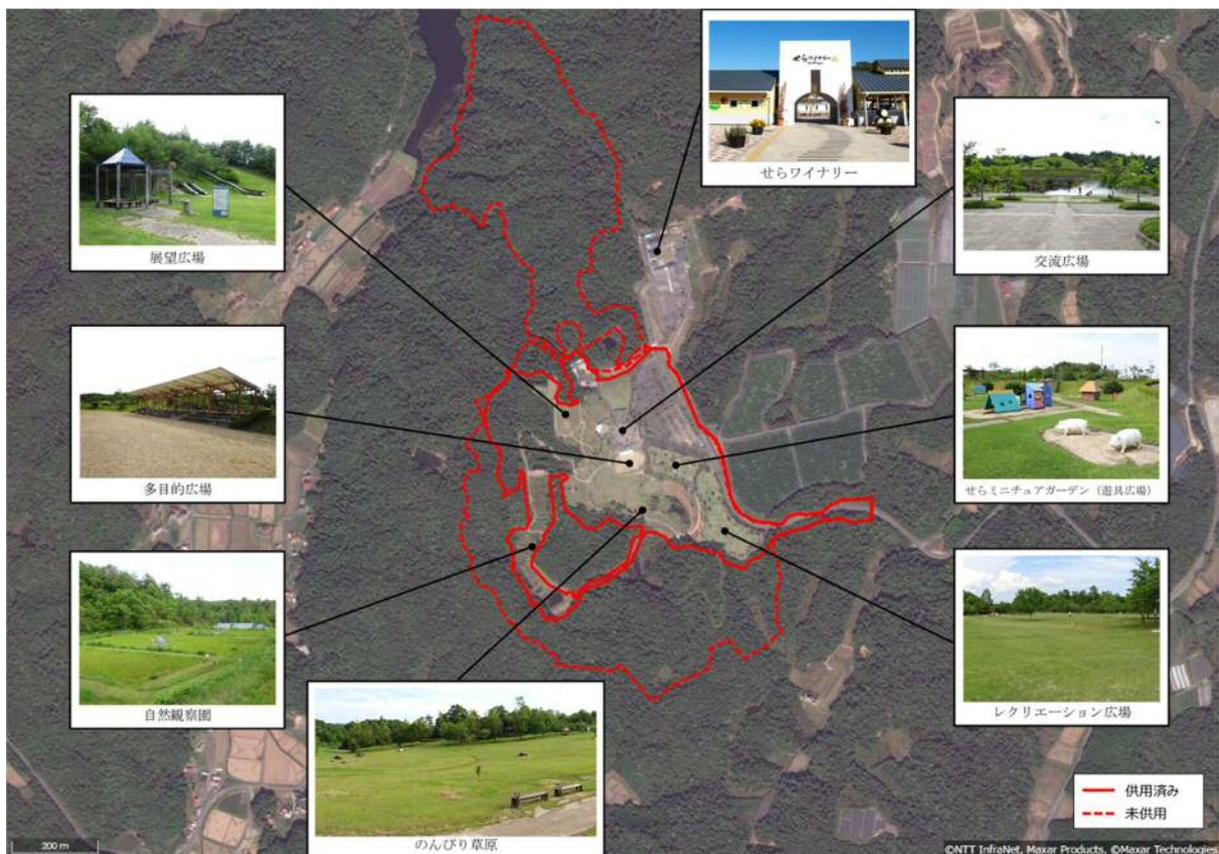


図 2-9 せら県民公園の施設位置図

#### (4) 利用者数の推移

せら県民公園の利用者数については、隣接するせらワイナリーと合わせて、約 310～409 千人で推移しています。

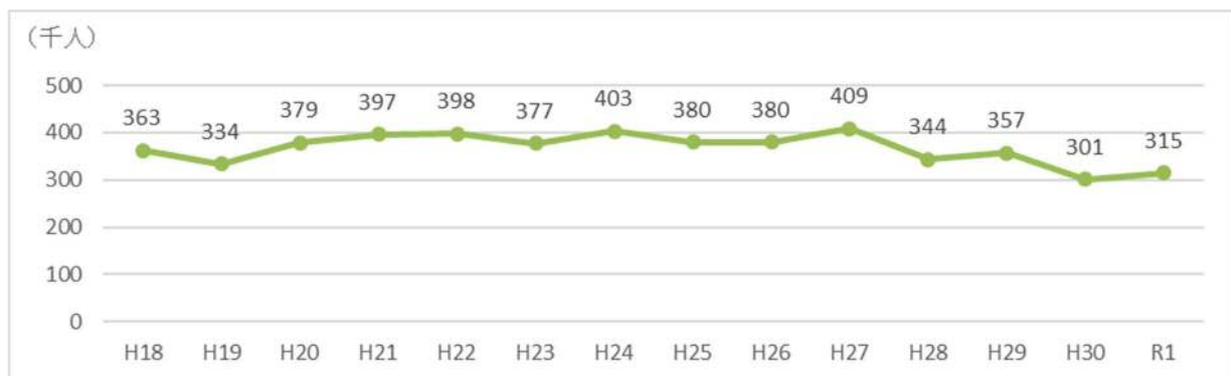


図 2-10 せら夢公園（せら県民公園+せらワイナリー）の利用者数推移

#### (5) 管理運営状況

せら県民公園については、広島県から世羅町へ事務委託を行い、世羅町が指定管理者制度を用いて管理運営しています。

令和元年度の管理運営費（人件費、光熱費など）は約 2.4 千万円／年を要してします。なお、有料施設がないため、公共投資額（県からの委託料）により運営しています。

維持管理コストは、利用者一人当たり 144～171 円／人の間で推移しており、これまでに要した建設コストは約 40 億円となっています。

## (6) 公園のユーザ構造

せら県民公園の利用状況について、GPS 情報や利用者アンケート結果から利用ユーザの構造を分析し、利用傾向を把握しました。

項目	分析結果概要																					
利用者属性	<p>【GPS】70代以上女性（16%）の利用が最も多く、次いで70代以上男性，60代男性が多くなっており，高齢者の利用が多い。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> <th>60代</th> <th>70代以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>2.6%</td> <td>5.0%</td> <td>6.2%</td> <td>6.7%</td> <td>10.7%</td> <td>15.4%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>6.3%</td> <td>8.1%</td> <td>8.2%</td> <td>5.9%</td> <td>9.4%</td> <td>15.6%</td> </tr> </tbody> </table>	性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	男性	2.6%	5.0%	6.2%	6.7%	10.7%	15.4%	女性	6.3%	8.1%	8.2%	5.9%	9.4%	15.6%
性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上																
男性	2.6%	5.0%	6.2%	6.7%	10.7%	15.4%																
女性	6.3%	8.1%	8.2%	5.9%	9.4%	15.6%																
利用頻度	<p>【GPS】年に1回（89%）が最も多く，次いで半年に1回（11%） 【アンケート】年に数回程度の方（45%）が最も多く，次いで月に1～2回程度が多くなっており，週に1回以上利用している人（8%）は少ない。</p>																					
利用者の居住地域	<p>【GPS】福山市（12.4%）が最も多く，次いで世羅町（11.9%），尾道市（8.9%）となっており，比較的広域的な利用である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福山市</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>世羅町</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>尾道市</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>東広島市</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>呉市</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>三原市</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>三次市</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>その他(県内)</td> <td>24.4%</td> </tr> <tr> <td>その他(県外)</td> <td>19.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【アンケート】世羅町（16%）が最も多く，次いで東広島市（12%），福山市（10%）</p>	地域	割合	福山市	12.4%	世羅町	11.9%	尾道市	8.9%	東広島市	7.2%	呉市	6.7%	三原市	5.8%	三次市	3.1%	その他(県内)	24.4%	その他(県外)	19.7%	
地域	割合																					
福山市	12.4%																					
世羅町	11.9%																					
尾道市	8.9%																					
東広島市	7.2%																					
呉市	6.7%																					
三原市	5.8%																					
三次市	3.1%																					
その他(県内)	24.4%																					
その他(県外)	19.7%																					
用時間帯	<p>【GPS】年間を通して日中の利用が多く，季節では春の利用が最も多い。</p>																					
利用状況	<p>【GPS】 交流広場（45.0%），ミニチュアガーデン（23.7%），レクリエーション広場（16.1%），展望広場（6.1%），のんびり草原（4.2%），多目的広場（2.9%），自然観察園（1.9%） 【アンケート】 交流広場（28.6%），ミニチュアガーデン（13.0%），レクリエーション広場（24.7%），展望広場（-），のんびり草原（37.7%），多目的広場（31.2%），自然観察園（53.2%）</p>																					

【GPS】：GPS 分析結果 【アンケート】：利用者アンケート結果

※GPS 分析はコロナ禍前（H31.3～R2.2）の情報（18歳以上が対象）を抽出しており，利用者アンケートはコロナ禍（R3.8～R3.9）で実施したことなどから結果に差異が生じている。

項目	分析結果概要																																				
満足度	<p>【アンケート】公園全体の満足度は、大変満足(25%)、満足(26%)、概ね満足(27%)の合計で78%を占めており、非常に高くなっている。</p> <p>公園全体の満足度 (N=92)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変満足</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>26.1%</td> </tr> <tr> <td>概ね満足</td> <td>27.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>7.6%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>大いに不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【アンケート】施設面では、自然の豊かさ(78%)や利用料金(71%)に関して特に満足度が高くなっている。一方、飲食施設・休憩施設(35%)やバリアフリー化の状況(40%)、公園内の情報・案内表示板(48%)に関しては、満足度が50%を下回っている。</p> <p>【アンケート】運営・維持管理面の満足度をみると、スタッフの対応(59%)や施設の空き具合(59%)の満足度が高く、公共交通でのアクセス(22%)や利用や予約手続き(42%)、周辺施設との周遊(42%)では満足度が低めになっている。</p>	満足度	割合	大変満足	25.0%	満足	26.1%	概ね満足	27.2%	どちらともいえない	7.6%	やや不満	1.1%	不満	13.0%	大いに不満	0%	未回答	0%																		
満足度	割合																																				
大変満足	25.0%																																				
満足	26.1%																																				
概ね満足	27.2%																																				
どちらともいえない	7.6%																																				
やや不満	1.1%																																				
不満	13.0%																																				
大いに不満	0%																																				
未回答	0%																																				
改善点	<p>【アンケート】せら県民公園でできたらもっと利用すると思うものとして、食事や休憩(41%)が最も多く、次いで、自然環境保全活動・環境学習(37%)、イベントや催し物の開催・参加(33%)、年齢・障害に関わらず参加しやすい講座・イベント(25%)となっている。</p> <p>【アンケート】公園にあれば利用したいと思う施設として、キャンプ場(30%)が最も多く、次いでカフェ・レストラン(29%)、バーベキュー場(28%)、冒険遊び場(27%)の順に多くなっている。</p> <p>公園にあれば利用したいと思う施設 (N=92)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャンプ場</td> <td>30.4%</td> </tr> <tr> <td>バーベキュー場</td> <td>28.3%</td> </tr> <tr> <td>ドッグラン</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>アスレチック</td> <td>26.1%</td> </tr> <tr> <td>クロスカントリー</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>カフェ・レストラン</td> <td>29.3%</td> </tr> <tr> <td>スケートボード場</td> <td>8.7%</td> </tr> <tr> <td>じゃぶじゃぶ池(水遊び場)</td> <td>21.7%</td> </tr> <tr> <td>3×3バスケットコート</td> <td>4.3%</td> </tr> <tr> <td>ボルダリング</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>壁打ちができる施設</td> <td>3.3%</td> </tr> <tr> <td>野外ステージ</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>冒険遊び場</td> <td>27.2%</td> </tr> <tr> <td>施設が増えても利用しない</td> <td>7.6%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>13.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施設	割合	キャンプ場	30.4%	バーベキュー場	28.3%	ドッグラン	9.8%	アスレチック	26.1%	クロスカントリー	6.5%	カフェ・レストラン	29.3%	スケートボード場	8.7%	じゃぶじゃぶ池(水遊び場)	21.7%	3×3バスケットコート	4.3%	ボルダリング	14.1%	壁打ちができる施設	3.3%	野外ステージ	5.4%	冒険遊び場	27.2%	施設が増えても利用しない	7.6%	特になし	12.0%	その他	13.0%	未回答	13.0%
施設	割合																																				
キャンプ場	30.4%																																				
バーベキュー場	28.3%																																				
ドッグラン	9.8%																																				
アスレチック	26.1%																																				
クロスカントリー	6.5%																																				
カフェ・レストラン	29.3%																																				
スケートボード場	8.7%																																				
じゃぶじゃぶ池(水遊び場)	21.7%																																				
3×3バスケットコート	4.3%																																				
ボルダリング	14.1%																																				
壁打ちができる施設	3.3%																																				
野外ステージ	5.4%																																				
冒険遊び場	27.2%																																				
施設が増えても利用しない	7.6%																																				
特になし	12.0%																																				
その他	13.0%																																				
未回答	13.0%																																				

## (7) 公園の特性（強み）

公園の活性化を考える上で、考慮すべき公園の特性（強み）を以下に整理します。

### ① 数少ない自然観察園を有し自然活動へのニーズに対応できる

せら県民公園は、県内でも数少ない自然観察園を有しています。また、せら県民公園利用者へのアンケート結果では、「せら県民公園でできたらもっと利用すると思うもの」として、自然環境保全活動・環境学習（39%）、食事や休憩（39%）が最も多くなっています。（複数回答可、回答者N=77名）

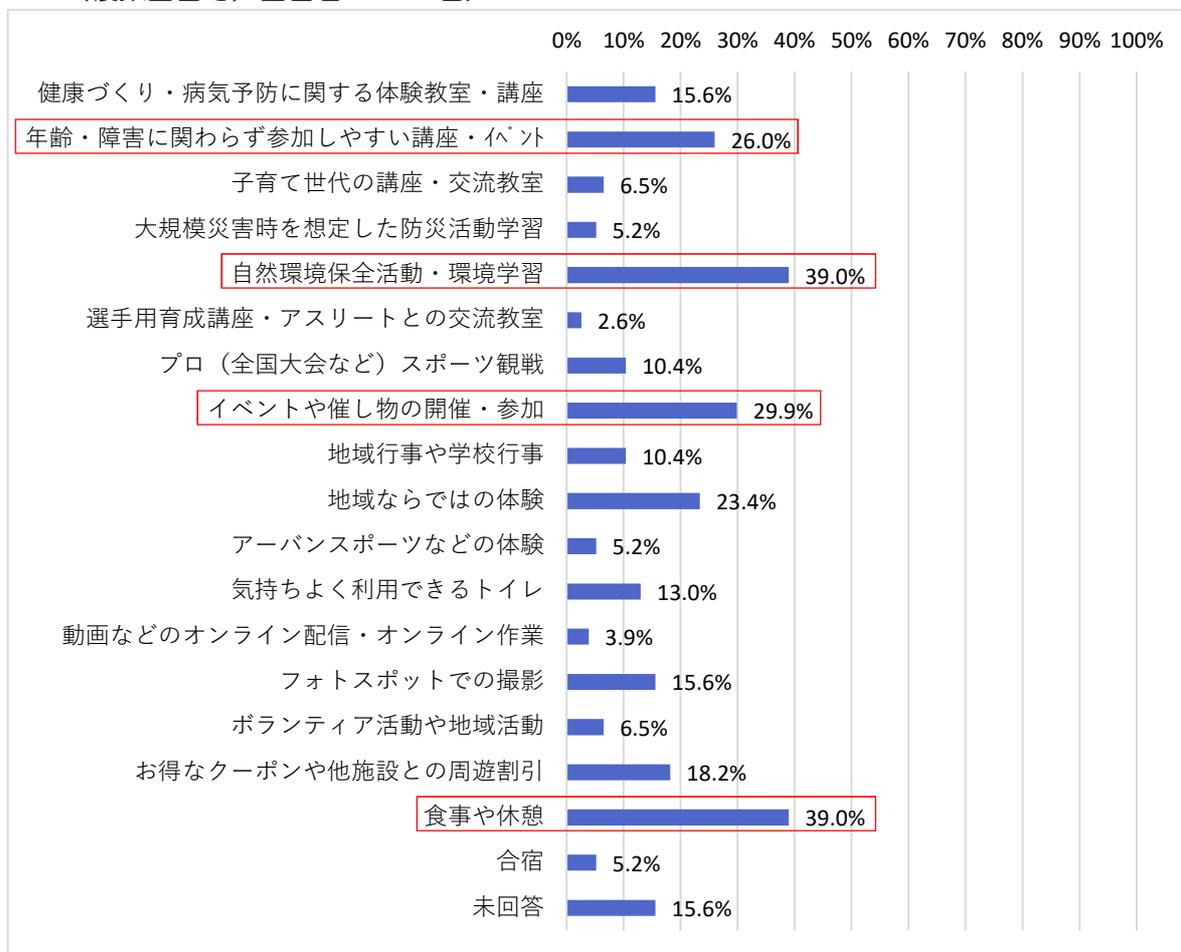


図 2-11 せら県民公園でできたらもっと利用するもの

### ② 周辺に観光施設が点在

せら県民公園の周辺には、「世羅大豊農園」、「花の駅せら」、「せら香遊ランド」、「道の駅世羅」、「世羅高原農場」などの観光施設が多く分布しており、せら県民公園を含めた周遊観光が可能な状況です。

### ③ せらワイナリーが隣接

せら県民公園は、備後地域での主要な観光施設であるせらワイナリーに隣接しており、せら県民公園利用者へのアンケート結果では、約8割がせらワイナリーの利用経験がある状況です。

#### ④ 広域的な利用傾向（強み）

公園利用者へのアンケート調査結果によると、回答者はせら県民公園が位置する世羅町にお住まいの方が20%と最も多く、次いで世羅町に隣接する東広島市（12%）や福山市（12%）で多くなっています。（回答者数 N=77 名）。未回答を除くと、約47%が地元や隣接市ではない所からの広域的な利用傾向が見られます。

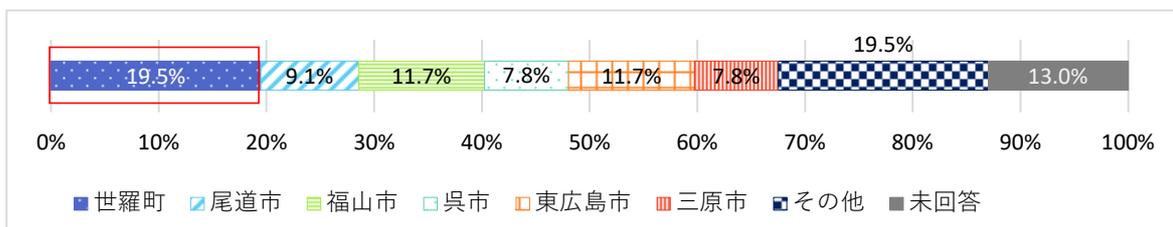


図 2-12 回答者の居住地（せら県民公園）

### （8）公園の特性（弱み）

公園の活性化を考える上で、考慮すべき公園の特性（弱み）を以下に整理します。

#### ① 高速道路からの距離

せら県民公園は、高速道路（尾道自動車道）の甲奴ICや世羅ICから約12～13kmの場所に位置し、高速道路からのアクセス性はそれほど良くはありません。

#### ② 未供用の公園用地がある

未供用のため活用されていない公園用地があります。

# 第3章 社会情勢の変化

## 3-1. 考慮すべき変化

### (1) 健康志向

これまでの国や自治体による健康に関わる施策は、感染症対策を中心に衛生水準の向上させるものからはじまり、徐々に疾病の予防や健康維持・増進に重点が置かれ、近年は「平均寿命に加え、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間＝健康寿命」を伸ばすことが重視されています。

広島県においても、保健に係る新たな分野別計画として、「健康ひろしま21（第2次）改訂版」を策定し、総括目標に「健康寿命の延伸」を掲げ、県民の健康的な生活習慣の実践や主体的な健康づくりのための環境整備を目指しています。

広島県の健康寿命は、年々増加傾向にあるものの、男女とも全国平均を下回っており、平成28年（2016年）における女性の健康寿命は73.62年となっており、全国で最も低くなっています。

政策の動きのみならず、国民生活の面でも、ジョギング愛好者の増加、フィットネスクラブの利用者の増加、喫煙率の減少など、食生活や個人の嗜好の面においても健康志向が垣間見られ、健康に対する意識は近年高まっていると考えられます。



図 3-1 広島県・全国の健康寿命の推移

出典：広島県の財政状況（広島県 令和2年5月29日公表）

## (2) アーバンスポーツ

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技会において、いわゆる「アーバンスポーツ」と呼ばれる若者に人気のある種目（スケートボード、サーフィン、スポーツクライミング、バスケットボール3人制、自転車のBMXフリースタイル）が新たに採用されました。

これらアーバンスポーツが新種目として採用された背景には、若者のスポーツ離れに対する問題意識があるとされており、従来のスポーツや体育の枠を超え、遊びやカルチャーの延長線上にスポーツを捉えるという考え方が定着しつつあります。

本県では、世界最高峰のアクション・スポーツ大会である「FISE（フィセ）※」が2018年4月に日本で初開催され、翌年に開催された『FISE WORLD SERIES HIROSHIMA 2019』では延べ103,000人が来場し、会場は大きな盛り上がりを見せました。

※FISE（フィセ）：25種目を超えるアーバンスポーツが一同に揃い、アマチュアやプロフェッショナルの男女アスリートが速さや高さなどを競い合う、国際的な都市型スポーツのフェスティバル。開催種目はBMX、スケートボード、ボルダリング、3x3バスケットボール、パルクール、プレイキン、マウンテンバイク、水上スノーボード、インライン・スケートなど。

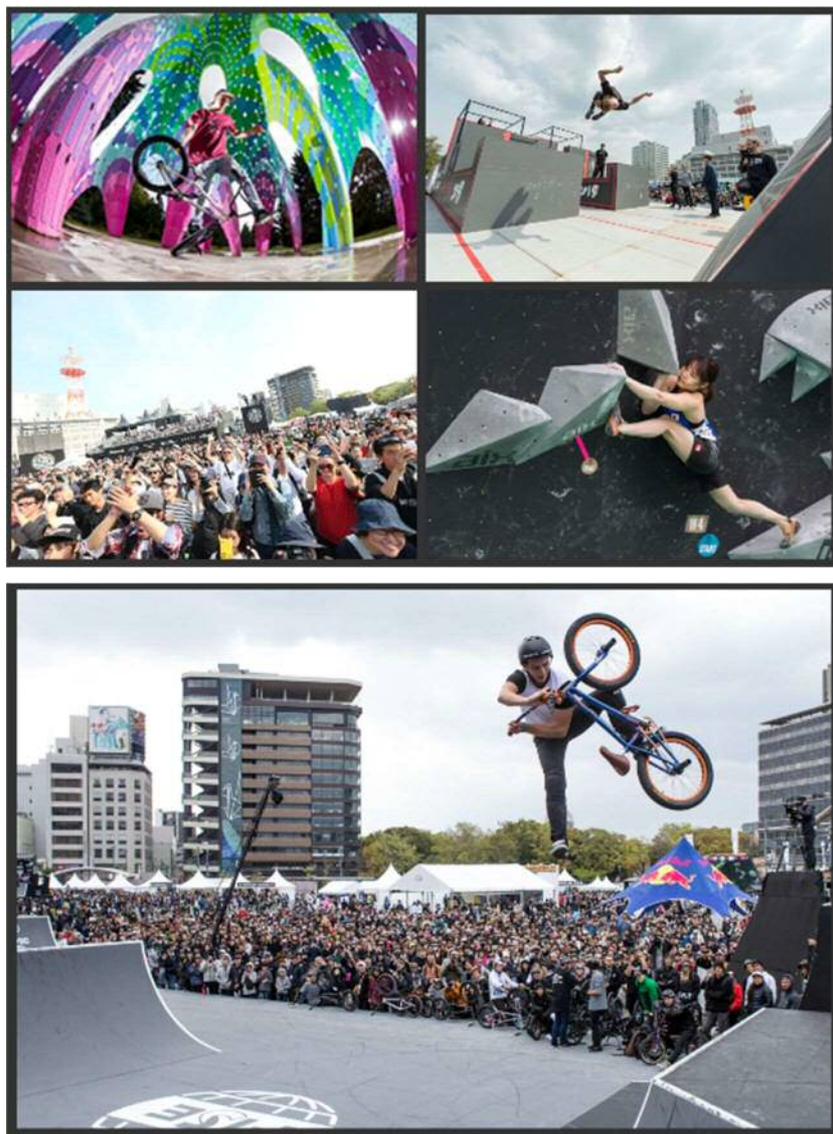


図 3-2 FISE Hiroshima

出典：FISE Hiroshima ホームページ

### (3) グリーンインフラ

「グリーンインフラ」とは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組です。(※「グリーンインフラ推進戦略(令和元年7月4日公表)」より)

我が国の社会は気候変動や国際的な都市間競争、人口減少による土地利用の変化や高齢化、インフラの老朽化による既存ストックの維持管理など、多岐にわたる課題への対応が求められており、その解決策の1つとして「グリーンインフラ」への注目が高まっています。

多機能性が特徴である都市公園は、グリーンインフラのひとつとして、よりいっそう有効活用していくことが求められています。



【図】グリーンインフラの考え方

図 3-3 グリーンインフラの概要

出典：国土交通省ホームページ「グリーンインフラポータルサイト」

### (4) 地域とのかかわり

人口減少、少子高齢化社会、財政難等への対応の必要性から、地域の持続性確保、良好な環境形成、地域の価値向上のために、「エリアマネジメント」、「地域経営」などと呼ばれる地域との関わりによる取組が求められています。

都市公園においても、住民やNPO、企業など多様な主体が連携・協働を図り、各主体の役割分担のもと公園の整備、管理運営を行う取組が全国的に行われています。

都市公園がボランティア活動の場となることで、住民に生きがいと生涯学習の機会を提供するとともに、地域を担う人材育成につながる効果が期待できます。

都市公園がコミュニティ活動を支援し、一定の範囲において地域をマネジメントする拠点にもなり得ます。

地域を意識した都市公園の整備、管理運営を行うことで、従来の公園機能の範疇にとどまらない、地域における拠点的機能を担うことが期待されます。

## (5) 都市公園における制度活用 (Park-PFI 等)

人口減少や地方自治体の財政制約等が深刻化する中、魅力ある都市公園を官民連携により創造するための手法として、「指定管理者制度」や「設置管理許可制度」、「公募設置管理制度 (Park-PFI)」などの導入が進み、民間参入による公園の整備、管理運営の取組が全国的に広がりを見せています。

都市公園の整備や管理運営にこれら手法を採用し、民間ノウハウ活用の最大化を図ること、公園利用者へのサービス向上や財政縮減の実現が期待されます。

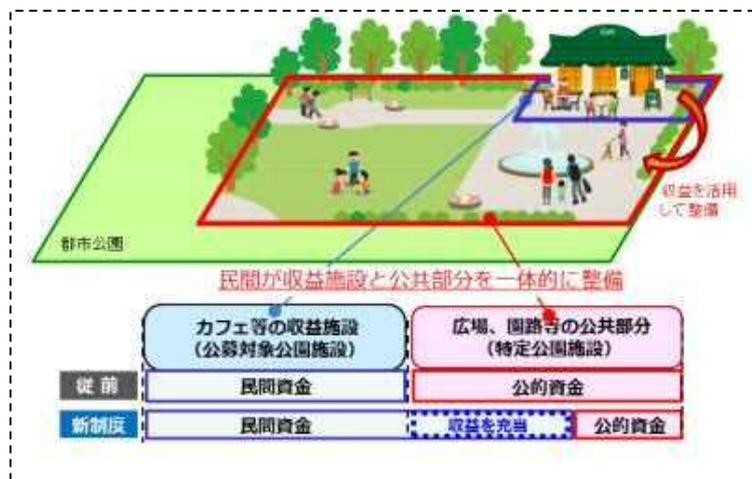


図 3-4 公募設置管理制度 (Park-PFI) のイメージ

出典：国土交通省「都市公園の質の向上に向けた Park-PFI 活動ガイドライン」, 平成 30 年 8 月 10 日改正

## (6) 観光・レクリエーション

国土交通省の「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」によると、都市公園は、地域の資源や文化と一体となり、観光資源として多数の観光客を誘引し、地域の観光振興に寄与するとされています。都市公園が観光拠点となることにより、物販・飲食・宿泊等の観光消費の拡大や他の観光関連施設への波及効果なども期待されています。

都市公園の観光振興としては、公園自体の景観形成による利用者の増加や歴史的資源との連携、自然やアートとの融合、民間活力導入による賑わいの創出等が挙げられています。



図 3-5 都市公園における観光振興の事例

出典：国土交通省「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」, 平成 28 年 5 月

## (7) クラウドファンディングの活用

地方自治体の財政制約が深刻化する中、地方自治体自ら資金調達を行うクラウドファンディングの活用が注目されています。

クラウドファンディングは、Crowd（人々、一般大衆）とFunding（資金調達）を合わせた造語で、事業者のアイデアやプロジェクトに共感や賛同する一般の人から資金を集める手法です。クラウドファンディングは、以下に示す寄付型、購入型、投資型に分類することができます。

クラウドファンディングを実施することにより、行政には、財政負担の軽減や地域の課題の解決、PRやファンづくりなどのメリットがあります。

表 3-1 クラウドファンディングの種類

タイプ	寄付型	購入型	投資型 (ファンド形態)
内容	ウェブサイト上で寄付を募り、支援者(寄付者)向けにニュースレターや簡易な品を送付する等	支援者(購入者)から前払いで集めた代金を元手に製品を開発し、支援者に完成した商品やサービスを提供する等	仲介事業者を介して支援者(投資家)が資金調達者匿名組合出資契約等を締結して資金を提供し、分配金等を受け取る等
リワード	なし (寄付)	商品・サービス (購入)	事業から得られる金銭 (金融商品取引)
資金調達規模 イメージ	数十万円～数百万円程度	数十万円～数千万円程度	数百万円～数千万円程度
活用場面例	被災地支援、社会問題解決等	マーケティング、商品開発、事業立ち上げ等	原材料購入等の運転資金、設備購入のための資金等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>リワードが不要</li> <li>寄付先など条件によっては寄付税制が適用される</li> <li>サイト掲載時に資金が不要</li> <li>公益性の高い案件に有効であるが事業系には不向き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイト掲載時に資金が不要</li> <li>目標額に到達しなければ成立しないAll or Nothing方式のサイトが多い</li> <li>瑕疵担保責任が生じる他、特定商品取引法や景表法など消費者関係法の規制対象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型案件にも対応可能</li> <li>金融商品取引法の規制対象であり、仲介事業者は第二種金融商品取引業者としての登録が必要</li> </ul>

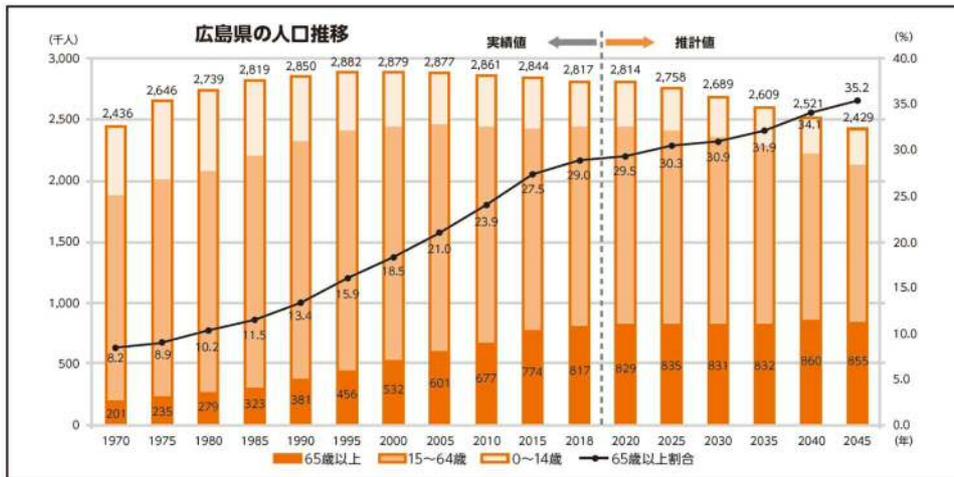
## 3-2. 重視すべき変化

### (1) 人口減少・高齢化

本県の人口は平成10年(1998年)の288万人をピークに減少しており、令和22年にはピーク時から約36万人減の252万人になると推計されています。

高齢者人口は令和7年(2025年)までは増加が続き、以降減少傾向となりますが、団塊ジュニア世代の高齢化により、令和22年(2040年)には再び増加することが見込まれます。

人口減少・高齢化は全国共通の課題ですが、広島県ではそのスピードが全国平均よりも早く進むことが予想されています。



出典：2015年までは総務省「国勢調査」、2018年は総務省「人口推計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

図 3-6 広島県の人口の推移

出典：広島県地域福祉支援計画

広島県の生産年齢人口(15~64歳)は減少を続け、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」という新たな局面へと転換し、県内総人口に対する年少人口(0~14歳)は、平成27(2015)年の約38万人に対して、令和27(2045)年には約29万人と大きく減少することが予想されています。

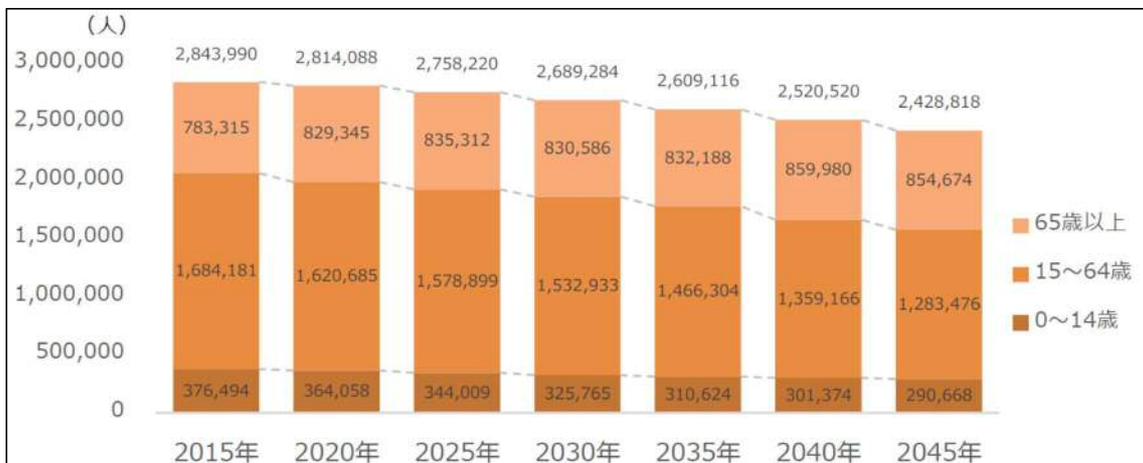


図 3-7 広島県の将来推計人口

出典：ひろしま子供の未来応援プラン(広島県 令和2年3月)

## (2) 防災・減災

東日本大震災をはじめ、近年、県内でも甚大な被害が発生した水害や土砂災害などを契機に、県民の防災意識は年々高まりを見せています。

表 3-2 県民意識調査の集計結果

行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果							R1 (目標)	R2 (目標)
	H26	H27 (10月)	H28 (8月)	H29 (2月)	H30 (2月)	H31 (2月)	R2 (2月)		
災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合	13.2%	27.0%	54.0%	60.5%	57.2%	71.2%	68.5%	83.0%	90.0%以上
防災教室・防災訓練へ参加した人の割合	35.1%	30.7%	32.9%	36.8%	39.4%	29.3%	41.5%	58.5%	60.0%
非常持出品を用意している人の割合	52.8%	51.5%	65.9%	67.6%	67.4%	66.5%	69.1%	—	—
上記を用意し、かつ3日以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合	—	—	—	46.7%	50.5%	48.1%	52.3%	64.2%	70.0%
家具等の転倒防止を行っている人の割合	—	—	—	43.9%	56.6%	44.7%	49.0%	62.5%	70.0%

行動計画に掲げる成果指標項目	H26	H27 (10月)	H28 (9月)	H29 (2月)	H30 (3月)	H31 (2月)	R2 (3月)	R1 (目標)	R2 (目標)
県、市町の防災情報メールを登録している人の割合	8.4%	10.4%	11.3%	11.3%	22.8% (※)	27.0% (※)	31.1% (※)	35.5%	40.0%

※ ヤフーと協議し、H30.3.27から、「ヤフー・防災速報」(スマートフォンアプリ、メール)からも県防災情報メールと同様の情報がプッシュ配信されることとなったことから、この度の数値は、防災情報メールの登録者数に「ヤフー・防災速報」登録者数を加えて算出している。

出典：防災・減災に関する県民意識調査結果(令和2年2月)(広島県みんなで減災推進課)

都市公園が果たすべく役割の一つとして、都市防災に資する防災機能(災害時の避難地・避難路、延焼防止、災害応急対策の拠点)の発揮が期待されます。

都市公園が災害時に防災機能を発揮するためには、防災拠点化に向けた施設整備に加え、公園施設の適切なメンテナンスを推進することが重要です。

県立3公園のうち、みよし公園とびんご運動公園は、避難場所や広域的な災害支援の拠点(救援物資の輸送・集結拠点)などの防災上の位置付けがあります。

表 3-3 県立3公園の防災上の位置付け

公園	防災上の位置付け
みよし公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所(三次市指定)</li> <li>救援物資の輸送拠点</li> </ul>
びんご運動公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>救援物資の輸送拠点</li> <li>救援部隊の集結拠点</li> </ul>
せら県民公園	—

出典：地域防災計画(広島県、三次市、尾道市、世羅町)

### (3) ライフスタイルに対する新しい価値観

令和2年頃から猛威をふるう新型コロナウイルス感染症により、人々の日常生活、経済、社会全体のあり方、人々の行動様式・意識など多方面に影響が生じています。

ワクチンなどの対策がある程度確立した時期（アフターコロナ）にも、この影響は元にはもどらず、いわゆる「ニューノーマル」へ移行していくという見解が強いとされています。

表 3-4 感染症拡大を契機に生じた社会の大きな変化

①テレワークの進展 ⇒職住近接のニーズが高まり、働く場と居住の場の融合が起こっていく可能性 ⇒オフィス需要の変化の可能性。老朽中小ビルなどは余剰発生の可能性
②生活重視に意識が変化 ⇒東京一極集中の是正が進みやすくなる可能性 ⇒ゆとりあるオープンスペースのニーズの高まり

参考：新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性の検討について（国土交通省）

### (4) 持続可能な開発目標（SDGs）

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、17のゴール・169のターゲットから構成されています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組は、地方創生の実現に役立つものであり、優れた取組を提案する都市として、本県を含む29都市が「SDGs未来都市」に選定されています。



図 3-8 都市公園に係る施策により貢献が期待されるSDGs

## (5) カーボンニュートラル

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

こうした中、広島県では、カーボンが様々な形で存在し、自然界や産業活動の中で循環し、持続的に共生できる社会経済「カーボン・サーキュラー・エコノミー<sup>※</sup>」の実現を目指しています。

これまでの省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入促進に加え、二酸化炭素を建設資材や燃料等の原材料として再利用する取組や農林水産業における利用、石油由来プラスチックからの代替促進などにより、環境と地域経済の好循環を図りながら、SDGsへも貢献することで、日本のみならず世界から注目を集めるような広島型カーボンサイクル構築の取組を推進していきます。

このため、2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して、県民、事業者など多様な主体が一緒になって取組を進められるよう、「みんなで挑戦 未来につながる 2050 ひろしまネット・ゼロカーボン宣言」を行っています。

※：カーボン（炭素のことで、炭酸ガス、化石燃料、生物や植物を構成する有機物などとして存在）が自然界や産業活動の中で様々な形で循環し、持続的に共生できる社会経済のこと。

## (6) DX (Digital Transformation)

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、進化したITを普及させることで人々の生活をより良いものにしていく変革のことです。

広島県では、デジタル技術やデータを活用して、全ての県民が、仕事・暮らしにおいてゆとりを持ちながら、個々のニーズに合った最適なライフスタイルを実現できることを目指して、仕事・暮らし、地域社会、行政におけるDXの取組を推進しています。

社会経済状況の激しい変化に対応し、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革し、国民の安全・安心で豊かな生活を実現する取組が進められています。

公園の維持運営においても、キャッシュレスや予約システム、AIを使った防犯、人流解析など、取組が始まっています。

## 第4章 目指す姿と課題

### 4-1. あるべき姿（30年後）

広島県の上位計画である『ひろしまビジョン』における「基本理念<sup>※1</sup>」や「目指す姿<sup>※2</sup>」、「社会資本未来プラン」、「都市計画区域マスタープラン」における公園の役割や本来、公園がもつ多様な機能（都市環境形成、活動、憩い、交流、防災など）などを踏まえ、30年後の県立3公園のあるべき姿を以下のように掲げます。

※1：将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いてよかった」と心から思える広島県の実現

※2：都市県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています  
～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

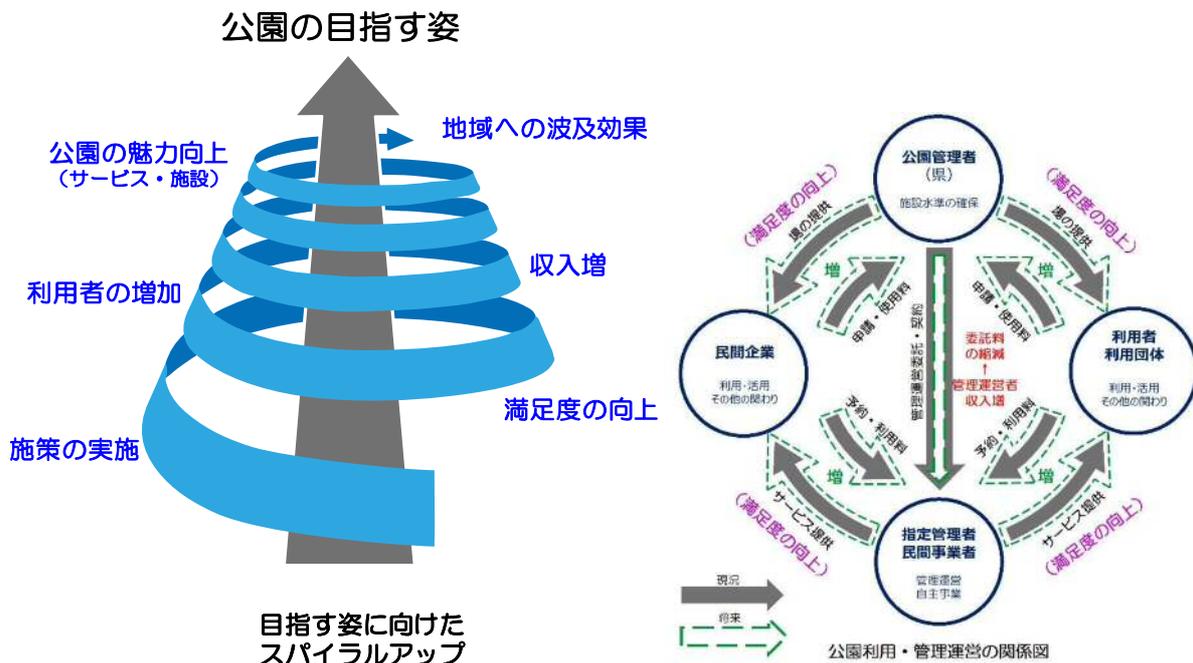
#### あるべき姿（30年後）

子供からお年寄りまでの誰もが何度でも気兼ねなく訪れたいくなる  
「多様性」があり、「自然と都市の近接性」を実感できる場として県民から愛されるとともに、県民の健康・スポーツなどの夢や希望への「挑戦」を後押しする公園の実現

また、以下に示すような効果を期待して、公園の活性化を目指します。

#### 公園活性化による効果のイメージ

施策の実施 ⇒ 満足度の向上 ⇒ 利用者の増加 ⇒ 収入増 ⇒ 公園の魅力向上 の好循環を生み出す！  
(サービス・施設)



## 4-2. 目指す姿（10年後）

前述の「あるべき姿（30年後）」を見据えるとともに、「公園の現状と特性」や「公園利用者ニーズ」「社会情勢の変化」を踏まえ、10年後の目指す姿を以下のとおり掲げます。

目指す姿（10年後）			
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人々から高い満足度を得て、誰でも何度でも訪れたいくなる施設となっている。</li> <li>● 気軽に予約・利用ができるなど、利用者へのサービスが行き届いており、満足度が高い施設となっている。</li> <li>● 民間事業者等が公園運営にも参画しており、公園全体の魅力が向上し続けている。</li> </ul>		
	みよし公園	びんご運動公園	せら県民公園
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 備北圏域の誰もが何らかの関わりを持ち、地域に開かれた公園として積極的に利用されている。また、高速道路でのアクセス性の良さを活かし、<b>文化活動・企業活動などが盛んに行われている。</b></li> <li>● スポーツ及びレクリエーション施設では施設水準が適切に維持され、<b>備北圏域を代表するスポーツ施設</b>として様々な大会等が行われており、屋外では<b>ゆったりと楽しめる</b>、憩える空間が広がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 尾道市を中心とする備後圏域の誰もが何らかの関わりを持ち、<b>地域に開かれた公園</b>として積極的に利用されている。</li> <li>● スポーツ施設では施設水準が適切に維持され、<b>県内スポーツにおける中核施設</b>として様々な大会開催・イベント等が行われている。また、施設更新時には、利用者ニーズに柔軟に対応するなど、レクリエーション施設も充実し、長時間楽しめる、憩える空間となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原風景が広がる自然観察園では、<b>自然観察や環境学習などが盛んに行われ</b>、地域に欠かせない施設となっている。</li> <li>● ゆったりと憩える空間が形成されており、周辺観光施設を周遊するファミリー層が、<b>立ち寄ってみたくなる公園</b>となっている。</li> </ul>

目標指標					
項目	対象公園	現況		将来（10年後） <small>（手だてを講じない場合）</small>	
		●利用者数	みよし公園	約70万人	約173万人
	びんご運動公園	約70万人	約77万人 <small>（約70万人）</small>		
	せら県民公園	約33万人	約35万人 <small>（約27万人）</small>		
●満足度	みよし公園	86%	86%	約90%	約90%
	びんご運動公園	89%		約90%	
	せら県民公園	78%		約80%	

※）現状の利用人数は、平成25年以降における公園施設の大規模修繕や高速道路の開通、新型コロナウイルス感染症などの外的な影響が少ない年度の平均値を採用しています。

## 4-3. 現状から手立てを講じない場合と目指す姿とのギャップ

現在の公園の状況から何の手立ても講じない将来の姿と、目指す姿を比較した場合、30年後のあるべき姿の実現に向けて、公園活性化における好循環を生み出すため、「満足度の向上」「リピート率の向上」「新規利用者の開拓」「収入増」「コスト縮減」の5つの視点から見ると、以下に示すようなギャップがあります。

### (多様なニーズや多様性に係るギャップ)

目指す姿として「多様な人々から高い満足度を得て、誰でも何度でも訪れたい施設となっている」ことを挙げてますが、現在の公園の状況のままだと、飲食施設や遊戯施設等を導入してもらいたいというような様々なニーズが満たされない状況となります。

また、目指す姿として「気軽に予約・利用ができるなど、利用者へのサービスが行き届いており、満足度が高い施設となっている」ことを挙げていますが、現在の公園の状況のままだと、バリアフリー化に対する満足度が低い状況などが改善されず、気軽に利用できない、利用者へのサービスが行き届いていない施設として評価され、公園全体としての満足度の低下が懸念されます。

### (各公園の特性に係るギャップ)

目指す姿として「多様な人々から高い満足度を得て、誰でも何度でも訪れたい施設となっている」ことを挙げてますが、以下の理由で利用されない施設となることが懸念されます。

#### 【みよし公園】

- ・みよし公園は地元の地域住民の利用が多い状況ですが、現在の状況のままだと「地域ならではの取組」に関わる人が増えないことや、周辺の類似施設との差別化が図れず、利用者に認知されないことが予想されます。

#### 【びんご運動公園】

- ・びんご運動公園は地元の地域住民の利用が多い状況ですが、現在の状況のままだと「地域ならではの取組」に関わる人が増えず、地域活動の場としての利用増加が見込めないことが予想されます。

#### 【せら県民公園】

- ・せら県民公園は、県下で貴重な自然観察園を有する公園で、かつ、周辺に観光施設が点在している立地特性を有していますが、現在の状況のままだと「自然保護活動・環境学習」の広がりが見込めないことや、周辺の環境変化に対応できず、他の観光施設への利用者の流出することが予想されます。

### (コストに係るギャップ)

目指す姿として「気軽に予約・利用ができるなど、利用者へのサービスが行き届いており、満足度が高い施設となっている」「民間事業者等が公園運営にも参画しており、公園全体の魅力が向上し続けている」ことを挙げていますが、現在の公園の状況のままだと、老朽化対策費用の不足で施設の利用制限やサービス低下などが懸念されます。また、民間事業

者等の公園運営への参画が見込まれず、結果的に魅力の向上が図れない状況や民間資金の導入が図れない状況が予想され、さらに利用料金による収入が増加しない状況やサービス水準の向上が見込めない状況などを招くなど、負の連鎖が懸念されます。

## 4-4. 目指す姿の実現にあたって考慮すべき課題

前述の「現状から手立てを講じない場合と目指す姿とのギャップ」を踏まえるとともに、各公園の現状や利用者ニーズ、ターゲット層の志向（分析結果）などから、目指す姿の実現にあたって考慮すべき課題を以下に整理しました。

### (1) 多様化するニーズを踏まえた魅力向上

公園利用者へのアンケート調査結果では、各公園において、様々な施設整備のニーズ\*が上がっています。目指す姿の実現にあたっては、これらのニーズが高い施設を中心として、ターゲット層の志向を意識しながら、未活用エリアを活性化し、先駆けて多様化するニーズを満たすため、民間のノウハウや資金を活用し、優先順位づけや取捨選択を行いながら、公園全体の魅力を向上させ続ける必要があります。

#### \*みよし公園でのニーズ

- ・《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と、「アスレチック」「キャンプ場」「じゃぶじゃぶ池」「冒険遊び場」「ボルダリング」など、手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- ・《地元要望》トイレの洋式化についての要望がある。また、施設・設備に対する要望が多く、具体的には、日陰やベンチ設置など滞在環境の改善、駐車場の位置、トイレ設備の充実、散策路への案内看板の設置等が挙げられている。

#### \*びんご運動公園でのニーズ

- ・《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と、「ボルダリング」「アスレチック」など、手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- ・《地元要望》施設・設備に対する要望が多く、具体的には、球技場の芝生化（人工芝も可）、ドッグランの整備、陸上競技場の照明料金徴収の在り方、スケートボード場の整備、3on3 バasketコート の整備、ウォーキングコースや歩道の整備、植栽（花）の充実、駐車場の整備、トイレの改善（洋式化、より綺麗に）、新しい設備への入れ替え、Wi-Fi 環境、光回線環境の整備等が挙げられている。

#### \*せら県民公園でのニーズ

- ・《アンケート結果》「カフェ・レストラン」「バーベキュー場」などの飲食施設と、「キャンプ場」「冒険遊び場」など、手軽に家族で楽しめる施設が上位にあがっている。
- ・《地元要望》ワイナリーを目的に来訪する人も多い一方で、子どもと一緒に利用できるサービス（子供向けイベント、飲食メニュー等）の充実を求める声が多い。また、レクリエーション広場へのトイレ追加・洋式化やクロスカントリーコースの整備、駐車場の舗装などの要望がある。

※アンケート結果：令和3年度実施の公園利用者アンケート調査結果

### (2) 誰もが安心して利用できる多様性への取組

安全安心に関する満足度は、「バリアフリー化の状況」の項目で満足度が低い。安全安心な施設整備・更新においては、これらを意識した施設整備、更新が必要です。

また、社会的には、子育て世代や高齢者、ダイバーシティなど、利用者の多様性への対応が求められています。

### (3)地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

#### ①【みよし公園】周辺施設との差別化

- ◆ 利用者の約7割は三次市及び庄原市であるが、「イベントや催し物の開催・参加（33%）」が改善点の上位にあがっており、「地域ならではの取組（37%）」に関する満足度が低いなど、これらを対象とした公園との関わり人を増やす取組や関わり方の幅を広げる取組が十分ではありません。目指す姿の実現にあたっては、三次市及び近隣市町をターゲットとし、地域と公園との関わり方の幅を増やし利用率を高める施策の展開が必要です。
- ◆ 中国自動車道及び尾道自動車道の両方からアクセス可能な三次東インターチェンジの直近に位置する特性を有し、一部、広島市（13%）などの都市部からの利用が見られるが、利用者のほとんどは周辺地域の利用者です。目指す姿の実現にあたっては、この良好なアクセス性を活かした広域的な集客を可能とする本公園ならではの魅力づくりが必要です。

#### ②【びんご運動公園】地域に開かれた公園づくり

- ◆ 利用者の多くは尾道市及び近隣市である福山市、三原市在住者であるが、「スポーツ大会・教室を除く地域イベントの開催実績は少なく、「イベントや催し物の開催・参加」が公園の改善点の上位にあがっています。また、「地域ならではの取組」に関する満足度が低い（43%）など、これらを対象とした公園との関わる人を増やす取組や関わり方の幅を広げる取組が十分ではありません。目指す姿の実現にあたっては、尾道市及び近隣市をターゲットとし、地域と公園との関わり方の幅を増やし利用率を高める施策の展開が必要です。

#### ③【せら県民公園】自然活動等の拡大・周辺施設との連携強化

- ◆ 「自然環境保全活動・環境学習（37%）」が公園の改善点の上位にあがっており、現在、ボランティア活動が行われています。目指す姿の実現にあたっては、地域活動や自然保護活動・環境学習などを行いやすい環境を継続し、活動を広め、参加する利用者を増加させる必要があります。
- ◆ 本公園利用者は隣接する「せらワイナリー」を利用している人が多い（83%）状況です。目指す姿の実現にあたっては、周遊する利用者が立ち寄る施設とするため、せらワイナリー等の観光施設との連携を強化し、認知度向上に向けたさらなる広報活動を行う必要があります。

### (4)コストの適正化・収入増への取組

各公園では、県からの委託料と利用料金等による収入によって管理運営しています。十分な予算確保が難しい状況となったり、利用料金等による収入が減少した場合には、利用者サービスの低下を招きかねない状況です。目指す姿の実現にあたっては、限られた予算の中で、管理コストの縮減や収入増加への取組が必要です。

※みよし公園の管理運営費（R1 支出）は約1.4億円／年であり、その内訳は、県からの委託料約 1.1 億円、利用料金等収入約 0.3 億円となっている。

※びんご運動公園の管理運営費（R1 支出）は約2.4億円／年であり、その内訳は、県からの委託料約 1.5 億円、利用料金等収入は、約0.9 億円／年となっている。

※せら県民公園の管理運営費（R1 支出）は約0.2億円／年を要している。

また、各公園は供用開始からかなりの年数が経過し、必要な老朽化対策費用に対する予算確保が難しく、施設の利用制限やサービス低下などが懸念されます。また、日常的な利用状況や

大会開催状況と、整備水準との不整合が一部見られることから、更新時の施設水準の適正化が必要です。

※みよし公園は供用開始から30年が経過し、必要な老朽化対策費は2億円/年となっている。

※びんご運動公園は供用開始から28年が経過し、必要な老朽化対策費は4億円/年となっている。

※せら県民公園は供用開始から15年が経過し、必要な老朽化対策費は1億円/年となっている。

上記のとおり、維持管理・更新費用が不足するなか、スポーツ振興やレクリエーション機会の創出といった公共の役割にも配慮しつつ、提供するサービスの水準や利用料金等の適正化が必要です。また、施設ごとの一人当たりの県費負担額は約70円から1810円と差があるので、段階的に是正する必要があります。さらにSDGs（持続的開発目標）が世界的に注目されるなか、SDGsに着目した整備、維持管理、更新が必要です。

## 第5章 基本方針と取組の方向、主要な施策

### 5-1. ターゲット層の設定と志向分析

本プランでは、以下に示すようにターゲット層を設定し、重点的に取り組みを展開します。

#### (1) ターゲット層の設定

公園利用者の満足度の向上を図るため、公園利用者のうち、利用が多い年齢層をターゲット層とし、その志向を把握しました。

ターゲット層	特 徴
30代・40代を中心としたファミリー層	・「子供と一緒に遊べる・体験できる施設」、「子供が学ぶ施設」を志向（利用目的・希望施設）。その他、「イベントや催し物への参加」、「食事や休憩施設」に興味あり（あれば参加）
60代以上のシニア層	・「健康増進」「教室・スクールなど学ぶ・交流する機会」を志向。

#### (2) ターゲット層の分析

ターゲット層のニーズを把握するため、公園利用者アンケートの設問である「できたらもっと利用すると思うもの」や「公園にあればよいと思う施設」について、ターゲット層の回答状況を以下に整理しました。

また、リピーターを増やすため、参考として、週1回以上の利用者の利用目的、利用施設、施設・運営に関する満足度についても整理しました。

<ターゲット層のニーズ>

ターゲット層	30代・40代ファミリー	60代以上シニア
みよし公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できればもっと利用するもの」として、<u>イベントや催し物の開催・参加、食事や休憩のニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると、<u>子育て世代の講座・交流教室のニーズ</u>が高くなっている。</li> <li>・「公園があればよいと思う施設」は、<u>じゃぶじゃぶ池（水遊び場）、アスレチック</u>などが多い。全体傾向と比較すると、じゃぶじゃぶ池（水遊び場）の回答割合が高くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できればもっと利用するもの」として、<u>健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座、選手用育成講座・アスリートとの交流教室、食事や休憩のニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると、健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座、大規模災害時を想定した防災活動学習などで特にニーズが高くなっている。</li> <li>・「公園があればよいと思う施設」は、<u>ドッグラン、アスレチック、カフェ・レストランのニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると、ドッグラン、カフェ・レストラン、野外ステージの回答割合が高くなっている。</li> </ul>
びんご運動公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できればもっと利用するもの」として、<u>イベントや催し物の開催・参加、プロスポーツ観戦、食事や休憩などのニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると、イベントや催し物の開催・参加、地域ならではの体験のニーズが高くなっている。</li> <li>・「公園があればよいと思う施設」は、<u>ボルダリング、アスレチック</u>が多く、全体傾向と比較すると、アスレチック、じゃぶじゃぶ池（水遊び場）などが多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できればもっと利用するもの」として、<u>健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座、プロスポーツ観戦のニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座で特にニーズが高い。</li> <li>・「公園があればよいと思う施設」は、<u>カフェ・レストランのニーズ</u>が最も高い。また、全体傾向と比較すると特になしとの回答が多くなっている。</li> </ul>
せら県民公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できればもっと利用するもの」として、<u>自然環境保全活動・環境学習、食事や休憩のニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると、子育て世代の講座・交流教室、お得なクーポンや他施設との周遊割引で高くなっている。</li> <li>・「公園があればよいと思う施設」は、<u>冒険遊び場、アスレチックのニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると、冒険遊び場、じゃぶじゃぶ池（水遊び場）などが多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できればもっと利用するもの」として、<u>食事や休憩、自然環境保全活動・環境学習、イベントや催し物の開催・参加のニーズ</u>が高い。また、全体傾向と比較すると、年齢・障害に関わらず参加しやすい講座・イベント、フォトスポットでの撮影で高い。</li> <li>・「公園があればよいと思う施設」は、<u>カフェ・レストラン、キャンプ場</u>などが多くなっている。</li> </ul>

< (参考) リピーターの利用目的、利用施設、施設・運営に関する満足度 >

リピーター	利用頻度週1回以上
みよし公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>教室・スクール、子供を遊ばせる</u>などを目的にしている方が多く、全体傾向と比較すると、健康増進、教室・スクールが多くなっている。</li> <li>• <u>温水プール、カルチャーセンター、こどもの広場</u>などの利用が多く、全体傾向と比較すると、こどもの広場、温水プールが多くなっている。</li> <li>• 施設満足度は、<u>自然の豊かさ</u>が特に高く、飲食・休憩施設では低めとなっている。全体傾向と比較すると、駐車場から利用施設の近さで満足が多くなっている一方、飲食施設・休憩施設でやや不満が多くなっている。</li> <li>• 運営満足度は、<u>スタッフの対応が最も高く</u>、全体傾向と比較すると、利用や予約手続きについてやや満足が多くなっている。</li> </ul>
びんご運動公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>健康増進、教室・スクール</u>を目的にしている方が多い。</li> <li>• <u>プールや冒険の森</u>が特に多く利用されている。</li> <li>• 施設満足度は、<u>自然の豊かさで非常に高い</u>一方、<u>飲食施設・休憩施設で低め</u>となっている。全体傾向と比較すると、駐車場から利用施設の近さ、自然の豊かさなどの項目で高くなっている。</li> <li>• 運営満足度は、<u>スタッフの対応で高くなっており</u>、<u>公共交通でのアクセスでは低め</u>となっている。全体傾向と比較すると、すべての項目で満足が多くなっているが、公共交通でのアクセス、周辺施設の周遊ではやや不満、不満も多くなっている。</li> </ul>
せら県民公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>花や緑など自然鑑賞、子供を遊ばせること</u>を目的とした利用者が多く、全体傾向と比較すると、花や緑など自然鑑賞、教室・スクールなどの目的が多くなっている。</li> <li>• <u>自然観察園や交流広場</u>が特に多く利用されている。</li> <li>• 施設満足度は、<u>自然の豊かさ、利用料金で高い</u>一方、<u>飲食施設・休憩施設、バリアフリー化の状況で低め</u>となっている。全体傾向と比較すると、然の豊かさで満足が多くなっている一方、バリアフリー化の状況で普通が多くなっている。</li> <li>• 運営満足度は、<u>施設の空き具合、スタッフの対応で高く</u>、<u>公共交通でのアクセスで低め</u>となっている。全体傾向と比較すると、公園の利用者のマナーでやや満足が多くなっている一方、公共交通でのアクセスで不満が多い。</li> </ul>

## 5-2. 基本方針と取組の方向、主要な施策

「目指す姿の実現にあたって考慮すべき課題」と「ターゲット層の志向」を踏まえた4項目に、ベースとなる「安全・安心」を加えた5項目を基本方針として、取組の方向・主要な施策を整理しました。なお、各取組は、急速に変化する社会情勢等を踏まえ、優先順位づけや取捨選択、試行、見直しなどを行いながら、実施していくこととします。

- 《基本方針1》 多様化するニーズを踏まえた魅力向上
- 《基本方針2》 誰もが安心して利用できる多様性への取組
- 《基本方針3》 地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり
- 《基本方針4》 コストの適正化・収入増への取組
- 《基本方針5》 安全・安心を支える取組

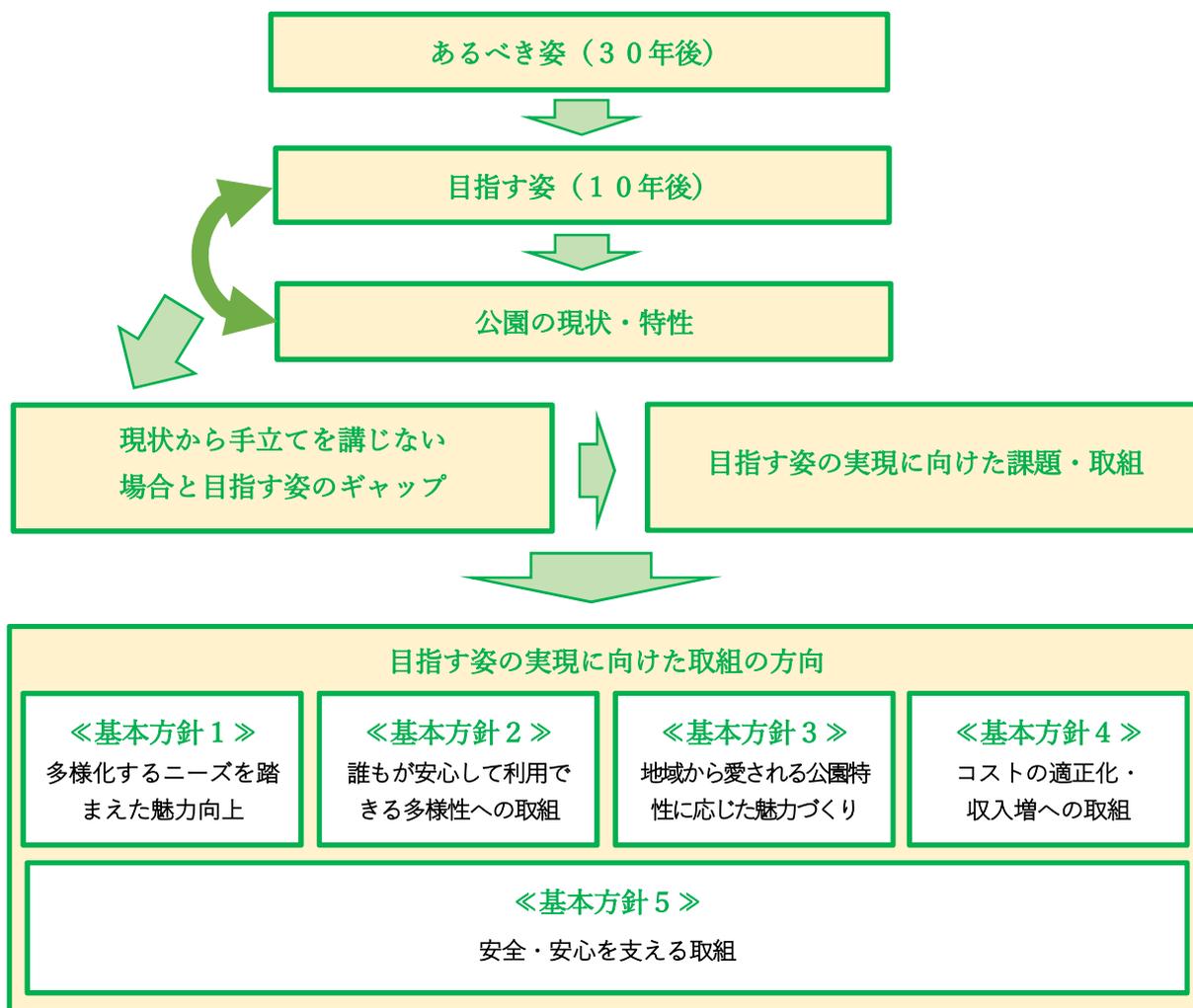


図5-1 あるべき姿から基本方針設定までの流れ

前述の「4-3.目指す姿の実現にあたって考慮すべき課題」で示した「(1) 多様化するニーズを踏まえた魅力向上」や「(2) 誰もが安心して利用できる多様性への取組」「(3) 地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり」「(4) コストの適正化・収入増への取組」を踏まえ、以下に“基本方針”と“目指す姿の実現に向けた取組の方向”、“主要な施策”を示します。

## 《基本方針 1》多様化するニーズを踏まえた魅力向上

### 【3 公園共通】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向	主要な施策
①民間のノウハウを活かした魅力向上	○公園敷地の未利用エリアにおいて、民間活力により飲食施設などを導入し、公園の魅力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上【継続】</li> <li>Park-PFIなど民間活力の導入</li> </ul>
②利用者ニーズを踏まえたサービス提供	○利用者ニーズが高いサービスについて導入検討を行い、効果が高いものなどを随時導入していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッチン等の誘導</li> <li>キャッシュレス化</li> <li>Free-wifiの導入</li> <li>開園時間・開園日の拡大【継続】</li> </ul>
③オープンスペースの魅力向上	○簡易な飲食施設の立地や魅力的な景観形成により、オープンスペースの魅力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッチンや露店などの出店手続きの簡素化・スマート化</li> <li>緑を基調とした美しい景観の創出</li> </ul>
④利用者ニーズを踏まえた施設更新・整備	○多様化する利用者のニーズを踏まえ、魅力向上のための工夫を施し、既存の施設を更新し、必要に応じて整備も検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力向上に資する施設更新・整備</li> </ul>
⑤多様な使い方を誘発	○情報発信や見える化、使い方の幅を広げる工夫（例えば、アーバンスポーツ等の新たな使い方を試行するなど）を積極的に導入します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園利用の見える化・情報発信</li> <li>公園禁止事項の緩和</li> <li>管理運営者による公園利用案内の強化</li> <li>園内での農産物の生産・販売の検討</li> </ul>
⑥DXの推進	○公園利用に関するDXを推進し、公園をより利用しやすくします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッシュレス化【再掲】</li> <li>利用予約の簡素化</li> <li>ICT 技術を活用した維持管理</li> </ul>
⑦継続的なニーズ把握	○公園利用者へのアンケート調査等の実施により、継続的にニーズを把握し、公園の活性化に反映します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査等の実施</li> </ul>

## 《基本方針 2》誰もが安心して利用できる多様性への取組

### 【3公園共通】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	主要な施策
①気軽に利用できる環境づくり※	○子育て世代や高齢者、障害者など、誰もが気軽に利用できるような環境づくりについて検討し、対策を実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化</li> <li>・インクルーシブ化</li> <li>・子育て支援施設の更新</li> </ul>
②居心地の良い環境づくり※	○施設更新時や空間形成時において、様々な工夫により、居心地が良い環境を形成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの洋式化</li> <li>・タッチレス化</li> <li>・安心して見守りができる環境形成</li> <li>・Free-wifi の導入【再掲】</li> </ul>

※SDGs への配慮（3：すべての人に健康と福祉を）

## 《基本方針 3》地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

### 【3公園共通】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	主要な施策
①多様な主体の参画を誘発※	○地域住民やボランティア団体、民間企業など、多様な主体が参加しやすいように情報発信や環境づくりなどを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のCSR活動・NPO活動を推進</li> <li>・多様な市民グループの企画によるイベント等の実施</li> </ul>
②地域活動を誘発する環境づくり※	○地域住民と公園との関わりを形成するための仕組みづくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園サポーター制度や基金などの導入検討</li> <li>・都市公園法第17条の2に基づく競技会の設置（利用者の利便性の向上）</li> </ul>

※SDGs への配慮（17：パートナーシップで目標を達成）

### 【みよし公園】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	主要な施策
①広島圏域からも集客できる魅力づくり	○人口が集中する広島圏域から集客するための工夫や仕組みづくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本公園ならではの魅力的な施設への更新検討</li> <li>・広域利用者の優遇措置の検討</li> </ul>

【みよし公園・びんご運動公園】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	主要な施策
①文化活動・企業研修を誘発	○スポーツ・レクリエーションのみでなく、公園での文化活動や企業研修等の実施を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験イベントや音楽会、学術講演、プライダル撮影などの実施検討</li> <li>・企業研修の場としての広報・PRの実施</li> </ul>
②スポーツを核とした交流	○スポーツによる交流を継続、発展させていきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロスポーツ選手による指導の継続</li> <li>・スポーツ交流イベントの実施</li> <li>・スポーツ合宿の誘致</li> <li>・アーバンスポーツやニユースポーツ等の導入検討</li> </ul>

【せら県民公園】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	主要な施策
①自然活動を誘発する環境づくり※	○県内でも貴重な自然観察園を活用した活動を推進するための環境づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動を支援する施設整備及び活動支援策の実施</li> <li>・より自然に近い空間での森林セラピーの導入検討</li> <li>・多様な主体による運営会議の実施</li> <li>・都市緑化や生物多様性に係る専門人材の配置</li> </ul>
②周辺施設からの利用誘導※	○周辺の観光・レクリエーション施設と連携した活性化について検討し、具体的な施策を実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光周遊コースの醸成</li> <li>・公園活性化に向けた地域プラットフォームの構築</li> <li>・スタンプラリー等の連携事業の実施</li> </ul>

※SDGs への配慮（17：パートナーシップで目標を達成）

## 《基本方針4》コストの適正化・収入増への取組

### 【3公園共通】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	主要な施策
①新たな維持管理手法の導入	○指定管理者制度の活用と合わせて、Park-PFI などにより民間資金を活用することで、公園整備、管理運営にかかる財政負担の軽減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上【継続】</li> </ul>
②新たな資金調達手法の導入	○民間からの新たな資金調達手法の導入を図るとともに、広大な公園敷地を有効活用し、クリーンエネルギー発電によるコスト縮減や収益向上について検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネーミングライツの導入</li> <li>寄付制度やクラウドファンディングの導入</li> <li>クリーンエネルギーを活用した収益の向上検討</li> </ul>
③利用実態に即した施設更新	○施設の利用実態と施設水準とのミスマッチを洗い出し、適正な施設更新を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細な利用実態の把握・分析と施設更新への反映</li> </ul>
④利用料金の適正化	○支出と収入（利用料金等）との差が大きい施設について抽出し、利用料金の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共コストの適正化</li> <li>ダイナミックプライシングの導入検討</li> </ul>
⑤多様な主体の参画を誘導	○地域住民やボランティア団体、民間企業など、多様な主体が公園の管理運営に参加しやすいように情報発信や環境づくりなどを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間のCSR活動・NPO活動を推進【再掲】</li> <li>公園の管理運営に参加しやすい環境づくり</li> </ul>
⑥コスト縮減	○計画的な施設更新によりトータルコストの削減を図るとともに、施設更新時において、コスト縮減に資する対策を随時実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>LED化・ローメンテナンス植栽の採用</li> <li>公園修繕方針に基づく適切な施設更新によるトータルコストの削減</li> </ul>

## 《基本方針5》安全・安心を支える取組

地球温暖化を背景として、自然災害の激甚化が顕著となってきています。広島県においても平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨では多くの貴重な人命が失われました。県立3公園のうち、特にみよし公園及びびんご運動公園は防災機能を有する公園として、防災機能の強化が重要となります。

これらを踏まえ、県立3公園の活性化においては、活性化を支える基盤づくりとして、安全・安心を支える取組に対して積極的に取り組みます。

### 【3公園共通】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	主要な施策
①防災拠点としての機能確保や活用強化 ※	○防災拠点として、求められる経年的な変化に対応した機能確保を図るとともに、防災機能を高めるための新たな公園活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対応機能（耐震・電力）の確保</li> <li>・防災学習を兼ねたイベントの実施</li> <li>・防災訓練の場としての活用</li> <li>・公園内の飲食施設で防災食を使用したメニューの提供</li> </ul>
②公園施設の適切な維持管理※	○安全・安心な公園利用を行うため、維持管理を適切に実施していきます。	・計画的な大規模改修・修繕の実施
③グリーンインフラの視点による防災機能の強化※	○公園施設の更新において、グリーンインフラの視点により、防災機能の強化を推進します。	・園路など雨水浸透化
④カーボンニュートラルへの対応※	○クリーンエネルギーの活用によりカーボンニュートラルに貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光などクリーンエネルギーの活用</li> <li>・森林の適切な管理</li> </ul>

※SDGsへの配慮（11：住み続けられるまちづくりを）（13：気候に具体的な対策を）

## 第6章 公園活性化に向けたアクション

県立3公園の活性化に向けて、前述の基本方針や取組の方向性に対応した具体的な施策の展開について、以下に示します。

なお、各施策は、急速に変化する社会情勢等を踏まえ、優先順位づけや取捨選択、試行、見直しなどを行いながら、実施していくこととします。

### 基本方針1：多様化するニーズを踏まえた魅力向上

#### 取組の方向1：●民間のノウハウを活用した魅力向上

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上	随時実施				
2	Park-PFI など民間活力の導入	基本構想 公募/選定	運営			

#### 取組の方向2：●利用者のニーズを踏まえたサービス提供

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	キッチンカー等の誘導	公募 試行	改善 試行	実施		
2	キャッシュレス化	検証 導入	拡大	全面実施		
3	Free-wifiの導入	検討 試行	必要に応じて実施			
4	開園時間・開園日の拡大	随時実施				

### 取組の方向3：●オープンスペースの魅力向上

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	キッチンカーや露店などの出店手続きの簡素化・スマート化	検討	試行	実施		
2	緑を基調とした美しい景観の創出	検討			実施	

### 取組の方向4：●利用者のニーズを踏まえた施設更新

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	魅力向上に資する施設更新・整備	随時実施※				

※利用者のニーズやコスト、施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し、施設毎に個別に判断して実施します。

### 取組の方向5：●多様な使い方を誘発

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)	
1	公園利用の見える化・情報発信	検討・実施					
2	公園禁止事項の緩和(キャンプファイヤーやBBQなど)	検討 試行	試行	実施			
3	管理運営者による公園利用案内の強化			検討	調整	試行	実施
4	園内での農産物の生産・販売の検討	検討			試行	実施	

## 取組の方向 6 : ●DXの推進

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	キャッシュレス化【再掲】	検討導入	拡大		全面実施	
2	利用予約の簡素化	検討	一部試行	拡大	全面実施	
3	ICT 技術を活用した維持管理	検討・試行			実施	

## 取組の方向 7 : ●継続的なニーズ把握

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	アンケート調査等の実施	随時実施・反映				

## 基本方針 2 : 誰もが安心して利用できる多様性への取組

### 取組の方向 1 : ●気軽に利用できる環境づくり※

※SDGs への配慮 (3 : すべての人に健康と福祉を)

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	バリアフリー化・インクルーシブ化	計画整備	整備			
2	子育て支援施設の更新	検討	計画	整備		

## 取組の方向 2 : ●居心地の良い環境づくり

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)	
1	トイレの洋式化	計画 整備	整備				
2	タッチレス化	計画 整備	整備				
3	安心して見守りが できる環境形成			課題 整理	調整	実施	
4	Free-wifi の導入	検討 試行	必要に応じて実施				

## 基本方針 3 : 地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

### 取組の方向 1 : ●多様な主体の参画を誘発※

※SDGs への配慮 (17: パートナーシップで目標を達成)

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)	
1	民間の CSR 活 動・NPO 活動を 推進	検討 試行	試行	実施			
2	多様な市民グル ープの企画によ るイベント等の 実施	検討 試行	試行	実施			

### 取組の方向 2 : ●地域活動を誘発する環境づくり

(みよし公園、 びんご運動公園)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)	
1	公園サポーター 制度や基金など の導入検討	検討	調整	実施			
2	都市公園法第 17 条の 2 に基づく 協議会の設置				試行	実施	

### 取組の方向 3：●広島圏域からも集客できる魅力づくり

(みよし公園)		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	本公園ならではの魅力的な施設への更新検討	随時実施※		
2	広域利用者の優遇措置の検討		検討 → 調整 → 試行	実施

※利用者のニーズやコスト、施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し、施設毎に個別に判断して実施します。

### 取組の方向 4：●文化活動・企業研修を誘発

(みよし公園・びんご運動公園)		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	体験イベントや音楽会、学術講演、ブライダル撮影などの実施検討	試行		実施
2	企業研修の場としての広報・PRの実施	随時実施		

### 取組の方向 5：●スポーツを核とした交流

(みよし公園・びんご運動公園)		短期 (R4~R7)	中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	プロスポーツ選手による指導の継続	随時実施		
2	スポーツ交流イベントの実施	検討 試行	実施	
3	スポーツ合宿の誘致	随時実施		
4	アーバンスポーツやニュースポーツ等の導入検討	試行		実施

取組の方向 6：●自然活動を誘発する環境づくり

(せら県民公園)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	コミュニティ活動を支援する施設整備及び活動支援策の実施	検討	調整	試行	実施	
2	より自然に近い空間での森林セラピーの導入検討			検討	調整	試行
3	多様な主体による運営会議の実施	検討	調整	試行		
4	都市緑化や生物多様性に係る専門人材の配置			検討	調整	試行

取組の方向 7：●周辺施設からの利用強化

(せら県民公園)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	観光周遊コースの醸成			検討	調整	試行
2	公園活性化に向けた地域プラットフォームの構築	検討	試行		実施	
3	スタンプラリー等の連携事業の実施	検討 試行	試行	実施		

## 基本方針 4 : コストの適正化・収入増への取組

### 取組の方向 1 : ●新たな管理運営手法の導入

(3公園共通)		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上						

### 取組の方向 2 : ●新たな資金調達手法の導入

(3公園共通)		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	ネーミングライツの導入						
2	寄付制度やクラウドファンディングの導入						
3	クリーンエネルギーを活用した収益の向上検討						

### 取組の方向 3 : ●利用実態に即した施設更新

(3公園共通)		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	詳細な利用実態の把握・分析と施設更新への反映						

※利用者のニーズやコスト、施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し、施設毎に個別に判断して実施します。

### 取組の方向 4：●利用料金の適正化

(3公園共通)		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	公共コストの適正化	検討	調整	段階導入	検証拡大	実施	
2	ダイナミックプライシングの導入検討			検討	調整	実施	

### 取組の方向 5：●多様な主体の参画を誘導【再掲】

(3公園共通)		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	民間の CSR 活動・NPO 活動を推進【再掲】	検討 試行	試行	実施			
2	公園の管理運営に参加しやすい環境づくり	検討 試行	調整	実施			

### 取組の方向 6：●コスト縮減

(3公園共通)		短期 (R4~R7)				中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	LED化・ローメンテナンス植栽の採用	随時実施※					
2	公園修繕方針に基づく適切な施設更新によるトータルコストの削減	随時実施					

※利用者のニーズやコスト、施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し、施設毎に個別に判断して実施します。

## 基本方針 5：安全・安心を支える取組

### 取組の方向 1：●防災拠点としての機能確保や活用強化

(みよし公園・びんご運動公園)		短期 (R4~R7)		中期 (R8~R12)	長期 (R13~)	
1	防災対応機能(耐震・電力)の確保	随時実施				
2	防災学習を兼ねたイベントの実施	試行	実施			
3	防災訓練の場としての活用	試行	実施			
4	公園内の飲食施設で防災食を使用したメニューの提供		検討	調整	試行	実施

### 取組の方向 2：●公園施設の適切な維持管理

(3公園共通)		短期 (R4~R7)		中期 (R8~R12)	長期 (R13~)	
1	計画的な大規模改修・修繕の実施	随時実施※				

※利用者のニーズやコスト、施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し、施設毎に個別に判断して実施します。

### 取組の方向 3：●グリーンインフラの視点による防災機能の強化

(3公園共通)		短期 (R4~R7)		中期 (R8~R12)	長期 (R13~)	
1	園路など雨水浸透化		検討	調整	試行	実施

## 取組の方向 4 : ●カーボンニュートラルへの対応

(3公園共通)		短期 (R4~R7)			中期 (R8~R12)	長期 (R13~)
1	太陽光などクリーンエネルギーの活用					
2	森林の適切な管理					

※利用者のニーズやコスト，施策実施による効果（利用者の推移想定）などを総合的に判断し，施設毎に個別に判断して実施します。